

目録 List

島根県の動物相に関する文献目録 Part 5 (2003-2006年)

淀江賢一郎¹・鶴崎展巨²

¹ 山陰むしの会, 〒690-0862 松江市比津が丘 2-1-7,
E-mail: yodoe@mable.ne.jp

² 鳥取大学地域学部生物学研究室,
〒680-8551 鳥取市湖山町南4-101,
E-mail: ntsuru@rstu.jp

Ken-ichiro YODOE¹ and Nobuo TSURUSAKI² (¹San-in Mushi Association, 2-1-7, Hitsugaoka, Matsue, Shimane Pref., 690-0862 Japan; ²Laboratory of Biology, Faculty of Regional Sciences, Tottori University, Tottori, 680-8551 Japan): **A bibliography concerning fauna of Shimane Prefecture. Part 5 (2003-2006).**

キーワード — 島根県, 動物相, 記録, 文献目録

Abstract — An annotated list of faunal papers for Shimane Prefecture, Honshu, Japan, published in a period from 2003 to 2006 is presented.

Key words — bibliography, fauna, faunal records, Shimane Prefecture

島根県の動物相についての文献紹介の目的で作成している目録の第5報である。2003-2006年中に刊行された文献が主体であるが、前報に漏れた1997年以降のものも若干含む。文献採録の基準は第1報(淀江・鶴崎, 1997, ホシザキグリーン財団研究報告(以下, HGF研報と略記)(1): 15-34.)と同じである。末尾には、今回の収集範囲の文献で県内をタイプ産地として記載された動物のリストを掲げる(今回は2種)。

次の各氏には文献の情報やそれらのコピーを提供いただいた。厚くお礼申し上げます: 石谷正宇, 門脇久志, 神垣健司, 川野敬介, 国井秀伸, 前田泰生, 皆木宏明, 中村慎吾, 尾原和夫, 大野正男, 大浜祥治, 大畑純二, 奥島雄一, 島田孝, 栃本武良, 矢野重明(ABC順)。

追加すべき文献あるいは二次情報をご存知の方々にはぜひともご教示をお願いしたい。順次追録して役立つ目録を作成していきたいと願っている。

凡例

配列は各分類群ごと(総合/哺乳類/鳥類/両生類・爬虫

類/魚類/昆虫類/クモガタ類/水生無脊椎動物・ベントス/陸生無脊椎動物)の著者のアルファベット順である。市販されているものについては価格を記した。スラッシュ(/)以下は要旨あるいはコメントである。とりわけ書評的なコメントが含まれる場合には必ず文責(KY=淀江, NT=鶴崎)を記した。

【総合】

青山徳久・大島由紀子・寺岡誠二・淀江賢一郎(編)(2003)「ゴビウス・スタディ Gobius Study 第1集(1-50号合本)」, 島根県立宍道湖自然館, 102 pp.

中国地方整備局 出雲河川事務所(2006)大橋川改修事業環境調査計画書。

林 成多・山内健生・寺岡誠二・中野浩史・川野敬介(2006)出雲市平田地域のため池生物調査(3)水生無脊椎・脊椎動物の調査結果. HGF研報, 9: 39-55./2001年9月~2003年10月, 39種(未同定種を含めると45種)。

ホシザキグリーン財団(編)(2004)「ため池の生きもの図鑑-平田市のため池と自然-」, 島根県立宍道湖自然館, ホシザキグリーン財団, 24 pp.

ホシザキグリーン財団(編)(2006)「川や水路の生きもの図鑑-平田地域の川と自然-」, 島根県立宍道湖自然館, ホシザキグリーン財団, 36 pp.

ホシザキグリーン財団(2006)出雲市平田地域のため池生物調査(1)成果の概要. HGF研報, 9: 1-12./2001年9月~2003年10月, 179種(未同定種を含めると200種)。

市川憲平(2004)放棄田ビオトープによる里の自然再生とタガメやその他の水生動物の定着. HGF研報, 7: 137-150.

新部一太郎・星川和夫(2006)松江市・竜溪洞の生態系とそこに生息する不思議な生き物たち. pp. 261-268. In: 日本生物教育会島根大会実行委員会(編)新島根の生物. 日本生物教育会島根大会実行委員会(出雲市), 274 pp.

尾原和夫(2006)島根県の動物相. pp. 87-97. In: 日本生物教育会島根大会実行委員会(編)新島根の生物. 日本生物教育会島根大会実行委員会(出雲市), 274 pp.

尾原和夫(2006)しまね生物教師列伝③平田駒太郎(1871-1921)の動物学上の業績について. p. 98. In: 日本生物教育会島根大会実行委員会(編)新島根の生物. 日本生物教育会島根大会実行委員会(出雲市), 274 pp.

大畑純二(2005)益田市高島の動物調査雑記. 島根県立三瓶自然館研究報告, 3: 77-78.

ラムサール条約ガイドブック編集委員会(2004)「宍道湖・中海ラムサール条約ガイドブック」, 28 pp. 宍道湖・中海汽水湖研究所。

- 島田 孝 (2005) 隠岐の山野を歩いて—島外者から見た隠岐の自然—。隠岐の文化財, 22: 7-22.
- 島根県景観自然課 (編) (2004) 改訂しまねレッドデータブック, 416 pp./1997年に発行された「しまねレッドデータブック」の全面的な改訂版。動物部門では, 野生絶滅6種, 絶滅危惧I類50種, 絶滅危惧II類73種, 準絶滅危惧178種, 情報不足168種の計475種が解説つきでリストアップされている。また, 植物部門では野生絶滅3種, 絶滅危惧I類96種, 絶滅危惧II類130種, 準絶滅危惧114種, 情報不足18種の計361種が解説つきでリストアップされている。4000円。(KY)
- 島根県景観自然課 (編) (2005) しまねレッドデータブック普及版, 126pp. 山陰中央新報社./前著の一般向けの販売目的に作成されたもの。226種 (うち動物121種) を簡単に解説。1000円。
- 山口勝秀・黒崎光恵・淀江賢一郎 (編) (2004) ゴビウス・スタディ *Gobius Study* 第2集 (51-100号合本), 島根県立穴道湖自然館, 102 pp.
- 淀江賢一郎 (2006) しまね生物教師列伝⑤上田常一 (1903-1981), p. 152. In: 日本生物教育会島根大会実行委員会 (編) 新島根の生物. 日本生物教育会島根大会実行委員会 (出雲市), 274 pp.
- 淀江賢一郎 (2006) しまね生物教師列伝⑥増田耕作 (1902-1998), p. 188. In: 日本生物教育会島根大会実行委員会 (編) 新島根の生物. 日本生物教育会島根大会実行委員会 (出雲市), 274 pp.
- 淀江賢一郎 (2006) しまね生物教師列伝⑦木村康信 (1907-1997), p. 246. In: 日本生物教育会島根大会実行委員会 (編) 新島根の生物. 日本生物教育会島根大会実行委員会 (出雲市), 274 pp.
- 淀江賢一郎・鶴崎展巨 (2004) 島根県の動物相に関する文献目録 Part 4 (2000-2002). HGF研報, 7: 1-27.
- 内藤順一 (2003) 高津川下流でモモジロコウモリとユビナガコウモリを採集. 比婆科学, 208: 38./2002.II.3, 益田市須子町でモモジロコウモリ, ユビナガコウモリを採集. カラー写真を添付。
- 内藤順一 (2003) 広島県動物誌資料 (15). 比婆科学, 211: 27-32./島根県羽須美村下口羽でのモモジロコウモリの記録 (2002年8月5日), 同地でのユビナガコウモリの記録 (2002年10月9日) が含まれる。(KY, NT)
- 大畑純二 (2003) 島根県で初めて生息が確認されたコモグラとミズモグラ. 島根県立三瓶自然館研究報告, 1: 3-8./6体のコモグラ標本とキツネの糞に含まれていたミズラモグラの骨1個体分を報告. 2種とも島根県初記録。
- 大畑純二 (2005) 島根のコウモリ. 島根県立三瓶自然館研究報告, 3: 84.
- 大畑純二 (2005) 日本のモグラ・島根のモグラ. 島根県立三瓶自然館研究報告, 3: 92.
- 大畑純二 (2006) 島根県産陸棲哺乳類目録. 島根県立三瓶自然館研究報告, 3: 7-16./42種のリスト。「石見外記」(1820)に記述された物産・走獣部についての注釈を含む。
- 作野広和 (2006) 「農林地を活用した獣害回避技術の開発 I. 島根県中山間地域におけるイノシシ被害と農家経営」。108pp.+18pp. 島根大学教育学部人文地理学研究室。
- 作野広和 (2006) 「農林地を活用した獣害回避技術の開発 II. 島根県大田市におけるイノシシ被害と集落特性」, 101pp.+5pp. 島根大学教育学部人文地理学研究室
- 島根県中山間地域研究センター編 (2003) 「国際イノシシフォーラム講演要旨集」, 101pp./島根県内のイノシシ被害の実態と対策など。
- Watanabe, T., Ishiguro, N., Nakano, M., Matsui, A., Hongo, H., Yamazaki, K. and Takahashi, O. (2004) Prehistoric Sado Island populations of *Sus scrofa* distinguished from contemporary Japanese wild boar by ancient mitochondrial DNA. *Zoological Science*, 21: 219-228./縄文遺跡から発掘の骨を材料としたmtDNA による先史時代のイノシシの分子系統。島根県Satakoubu遺跡からの骨も材料として使用されている。

【哺乳類】

- 岸本康誉 (2003) 島根半島弥山山地におけるニホンジカ個体群の生態学的特性. 73 pp. 自刊.
- 小村洋子・中村智子 (2006) 島根県の哺乳類. pp. 99-102. In: 日本生物教育会島根大会実行委員会 (編) 新島根の生物. 日本生物教育会島根大会実行委員会 (出雲市), 274 pp.
- 石黒直隆・渡部琢磨 (2005) イノシシの遺伝子分布地図と起源. 143-158. In: 増田隆一・阿部 久 (編) 動物地理の自然史【分布と多様性の進化学】北海道大学図書刊行会 (札幌), 288 pp.
- 桑原一司・奥田雅史 (2003) 島根県瑞穂町におけるコウモリの越冬洞と繁殖洞. 高原の自然史, 7: 59-83.

【鳥類】

- 江角薫子 (2003) 松江城山探鳥会報告. スペキュラム, 91: 8./2002.XII.1, 松江城山にてミサゴなど21種.
- 江角薫子 (2003) 松江城山探鳥会報告. スペキュラム, 91: 8./松江城山にて2002.XI.3, カルガモなど12種.
- 江角薫子 (2003) 松江城山探鳥会報告. スペキュラム, 92: 8./松江城山にて2003.II.2, カイツブリなど26種.

- 江角薫子 (2003) 松江城山探鳥会報告. スペキュラム, 93: 8./2003.III.2, 松江市城山, カワウ, アオサギ, ルリビタキ, ジョウビタキなど18種。
- 江角薫子 (2003) 松江城山探鳥会報告. スペキュラム, 94: 10./2003.IV.20, 松江市城山, ミサゴ, トビ, カワセミなど18種。
- 江角薫子 (2004) 松江城山探鳥会報告. スペキュラム, 97: 9./2003.XI.2, 松江市城山, カワウ, カルガモ, コサギなど18種。
- 江角薫子 (2004) 松江城山探鳥会報告. スペキュラム, 97: 10./2003.XII.7, 松江市城山, カルガモ, アオサギ, トビなど11種。
- 江角薫子 (2004) 松江城山探鳥会報告. スペキュラム, 98: 7./2004.I.7, 16種。
- 江角薫子 (2004) 松江城山探鳥会報告. スペキュラム, 98: 8./2004.II.1, 26種。
- 江角薫子 (2005) 松江城山探鳥会報告. スペキュラム, 103: 9./2005.X.24, 19種。
- 江角薫子 (2005) 1月の城山の鳥たち. スペキュラム, 104: 7./2005. I .2, 26種。
- 江角薫子 (2005) 2月の城山の鳥たち. スペキュラム, 104: 8./2005.II.6, 16種。
- 江角薫子 (2005) 3月の城山の鳥たち. スペキュラム, 105: 8./2005.III.6, 17種。
- 江角薫子 (2005) 4月の城山の鳥たち. スペキュラム, 106: 11./2005.IV.17, 18種。
- 江角薫子 (2006) 11月の城山の鳥たち. スペキュラム, 109: 7./2005.XI.6, 13種。
- 江角薫子 (2006) 12月の城山の鳥たち. スペキュラム, 109: 8./2005.XII.4, 17種。
- 江角薫子 (2006) 2月の城山の鳥たち. スペキュラム, 110: 6./2006.II.5, 18種。
- 江角薫子 (2006) 3月の城山の鳥たち. スペキュラム, 111: 12./2006.III.5, 14種。
- 秦 智明 (2003) 神戸川河口探鳥会報告. スペキュラム, 93: 8./2003.III.9, 大社町～出雲市境の神戸川河口にて, オオハム, カイツブリ, カンムリカイツブリなど34種。
- 秦 智明 (2005) 出雲大社の冬の鳥たち. スペキュラム, 105: 8./2005.II.13, 20種。
- 秦 智明 (2006) 早春の出雲大社ウオッチング. スペキュラム, 111: 12./2006.III.12, 21種。
- 秦 智明 (2006) 隠岐探鳥会報告2006年5月. スペキュラム, 112: 3./2006.V.2-6, 92種。
- 星野由美子 (2004) 三瓶探鳥会報告. スペキュラム, 101: 6./2004.VI.20, 21種。
- 星野由美子 (2006) 三瓶山バードウオッチング. スペキュラム, 113: 7./2004.VI.18, 21種。
- 星野由美子 (2004) 三瓶自然館野外観察コーナーで見られる鳥類I. 島根県立三瓶自然館研究報告, 2: 19-30./40種。
- ホシザキグリーン財団 (編) (2006) 「グリーンパークで Bird Watching」. 宍道湖グリーンパーク (ホシザキグリーン財団) (出雲市)
- 藤田泰宏・森 茂晃 (2005) 島根県隠岐航路における海鳥の個体数と漁業資源との関係の検討. HGF研報, 8: 241-246.
- 市橋直規 (2004) 美保関における春の渡り鳥標識調査報告. HGF研報, 7: 261-270.
- 飯塚洋一 (2003) 松江末次公園探鳥会報告. スペキュラム, 92: 8./松江市末次公園にてカンムリカイツブリなど22種。
- 飯塚洋一 (2003) 宍道湖グリーンパーク探鳥会報告. スペキュラム, 96: 8./2003.IX.21, カワウ, ダイサギ, チュウサギなど17種。
- 飯塚洋一 (2003) 三瓶山探鳥会報告. スペキュラム, 95: 6./2003.VI.15, アオバト, ツツドリなど17種。
- 飯塚洋一 (2004) 斐伊川河口探鳥会報告. スペキュラム, 97: 9./2003.XI.9, グリーンパーク, キンクロハジロなど。
- 飯塚洋一 (2004) 春の城山ウオッチング. スペキュラム, 99: 8./2004.IV.18, 20種。
- 飯塚洋一 (2005) 中海大橋冬鳥ウオッチング. スペキュラム, 104: 7./2004.XII.12, 26種。
- 飯塚洋一 (2005) 京羅木山バードウオッチング. スペキュラム, 107: 6-7./2005.III.13, 24種。
- 飯塚洋一 (2006) 大橋川河口の鳥. スペキュラム, 109: 7-8./2005.XI.13, 26種。
- 飯塚洋一 (2006) 神西湖バードウオッチング. スペキュラム, 110: 5./2005.XII.11, 19種。
- 井山 明 (2004) 僅かな記録の鳥たち- オーストンウミツバメ. スペキュラム, 99: 3-4./このシリーズは文献を丹念にあたってよく調べており, 新しい島根県鳥類目録作成に貢献するものと思われる。(KY)
- 井山 明 (2004) 僅かな記録の鳥たち- オナガとある博物の教師. スペキュラム, 100: 9-10.
- 井山 明 (2004) 僅かな記録の鳥たち- セグロアジサシ・コアジサシ. スペキュラム, 101: 2.
- 井山 明 (2005) 斐伊川河口探鳥会報告. スペキュラム, 103: 8./2005.XI.14, 22種。
- 井山 明 (2005) 僅かな記録の鳥たち- シロハヤブサ. スペキュラム, 104: 2.
- 井山 明 (2005) 僅かな記録の鳥たち- コシギ. スペキュラム, 105: 2.
- 井山 明 (2005) 僅かな記録の鳥たち- シロアジサシ. スペキュラム, 107: 2.

- 井山 明 (2005) 僅かな記録の鳥たち-続オーストンウミツバメ. スペキュラム, 108: 2.
- 井山 明 (2006) 僅かな記録の鳥たち- ウミガラス. スペキュラム, 109: 5.
- 井山 明 (2006) 僅かな記録の鳥たち-ウチヤマセンニュウ. スペキュラム, 110: 2.
- 井山 明 (2006) 僅かな記録の鳥たち- 灯台衝突死鳥. スペキュラム, 111: 7-8.
- 井山 明 (2006) 僅かな記録の鳥たち- カツオドリ. スペキュラム, 112: 2.
- 井山 明 (2006) 僅かな記録の鳥たち- オオジシギ. スペキュラム, 113: 3.
- 井山 明 (2006) 僅かな記録の鳥たち- ベニバト. スペキュラム, 114: 2.
- 市橋直規 (2004) 美保関における春の渡り鳥標識調査報告. HGF研報, 7: 261-270.
- 石本賢治 (2005) 1998年から2003年までに観察した島根県で初記録と思われる鳥. HGF研報, 8: 303-306.
- 石本賢治 (2005) 島根県西部の日本海沿岸で見られるカモメ類についての考察. HGF研報, 8: 307-309.
- 石本賢治 (2005) コムクドリの繁殖. スペキュラム, 107: 3.
- 岩井元康・森脇 肇・庄司俊朗 (2006) 島根県の鳥類. pp. 103-116. In: 日本生物教育会島根大会実行委員会 (編) 新島根の生物. 日本生物教育会島根大会実行委員会 (出雲市), 274 pp.
- 神谷 要・斎藤慎也 (2005) 島根県初記録ハシブトウミガラス. スペキュラム, 105: 6. / 2005.II.13, 隠岐 (島後) 今津。
- 川上 章 (2003) 宍道湖グリーンパーク探鳥会報告. スペキュラム, 92: 7. / 2003.I.19, 宍道湖グリーンパーク (平田市園町) にてノスリなど19種を確認。
- 川上 章 (2003) 鼻高山登山探鳥会報告. スペキュラム, 96: 8. / 2003.X.5, ハヤブサ, ヤマドリ, ハリオアマツバメなど21種。
- 川上 章 (2004) 暑い夏にシギチ. スペキュラム, 101: 4.
- 川上 章 (2005) 鼻高山登山探鳥会報告. スペキュラム, 103: 7. / 2005.X.24, 19種。
- Kawaji, N., Tojo, H., Matsuoka, S., Takano, H. and Kitahara, E. (2003) Catalogue of bird skin collection in Forestry and Forest Products Research Institute (FFPRI). Bulletin of FFPRI, 2(4): 271-350.
- 季刊文化財編集部 (2003) 県指定文化財2件. 季刊文化財, 105: 35-37. / 隠岐・知夫里島 (大波加島) におけるオオミズナギドリの紹介. 大波加島は推定生息数十万羽を超える国内有数のオオミズナギドリ集団繁殖地であるという。
- 北脇 努 (2003) 表紙写真と解説. スペキュラム, 91: 表紙, 1. / 2002.XI.16, 斐伊川河口右岸にてオオカラモズ。
- 北脇 努 (2003) 表紙写真と解説. スペキュラム, 92: 表紙, 1. / 2003.II.9, 飯石郡吉田村にてオシドリ。
- 北脇 努 (2003) 表紙写真と解説. スペキュラム, 93: 表紙, 1. / 2003.IV.9, セイタカシギ。
- 北脇 努 (2003) 表紙写真と解説. スペキュラム, 94: 表紙, 1. / 2003.V.10, 出雲市にてマナヅル。
- 北脇 努 (2003) 表紙写真と解説. スペキュラム, 95: 表紙, 1. / 2003.VIII.11, 斐川町にてアオバズク。
- 北脇 努 (2003) 表紙写真と解説. スペキュラム, 96: 表紙, 1. / 2003.X.8, オオハシシギ。
- 北脇 努 (2003) 鰐淵寺探鳥会報告. スペキュラム, 94: 10. / 平田市鰐淵寺, 2003.V.18, オシドリ, ミサゴ, イワツバメ, キビタキ, オオルリなど26種。
- 北脇 努 (2004) 表紙写真と解説. スペキュラム, 97: 表紙, 1. / 2003.XII.14, ハヤブサ, 斐伊川河口。
- 北脇 努 (2004) 表紙写真と解説. スペキュラム, 98: 表紙, 1. / 2004.II.1アビ, 斐伊川河口。
- 北脇 努 (2004) 表紙写真と解説. スペキュラム, 99: 表紙, 1. / 2004.IV.4, カリガネ, 斐伊川河口。
- 北脇 努 (2004) 表紙写真と解説. スペキュラム, 100: 表紙, 1. / 2001.III.18, ミサゴ, 斐伊川河口。
- 北脇 努 (2004) 鰐淵寺観察会報告. スペキュラム, 100: 14. / 2004.V.16, 23種。
- 北脇 努 (2004) 表紙写真と解説. スペキュラム, 101: 表紙, 1. / 2004.VII.11, アオバズク, 斐川町荘原。
- 北脇 努 (2004) 表紙写真と解説. スペキュラム, 102: 表紙, 1. / 2004.X.2, マガン, 平田市島村。
- 北脇 努 (2005) 表紙写真と解説. スペキュラム, 103: 表紙, 1. / 2004.XII.9, コチョウゲンボウ, 斐伊川河口。
- 北脇 努 (2005) 表紙写真と解説. スペキュラム, 104: 表紙, 1. / 2004.II.6, コハクチョウ, 斐伊川河口。
- 北脇 努 (2005) 表紙写真と解説. スペキュラム, 105: 表紙, 1. / 2005.III.29, ヤツガシラ, 宍道湖西岸。
- 北脇 努 (2005) 表紙写真と解説. スペキュラム, 106: 表紙, 1. / 2005.V.13, ハヤブサ, 出雲市十六島町。
- 北脇 努 (2005) 鰐淵寺探鳥会報告. スペキュラム, 106: 11. / 平田市鰐淵寺, 2005.IV.17, 18種。
- 北脇 努 (2005) 表紙写真と解説. スペキュラム, 107: 表紙, 1. / 2005.VII.12, アオバズク, 斐川町荘原。
- 北脇 努 (2005) 表紙写真と解説. スペキュラム, 108: 表紙, 1. / 2005.XI.30, マガンとオナガガモ, 斐伊川河口。
- 北脇 努 (2006) 表紙写真と解説. スペキュラム, 109: 表紙, 1. / 2005.XII.30, マガンとカリガネ, 斐伊川河口。
- 北脇 努 (2006) 表紙写真と解説. スペキュラム, 110: 表紙, 1. / 2006.II.13, アメリカコハクチョウとコハクチョウの交雑?, 斐伊川河口。

- 北脇 努 (2006) 表紙写真と解説. スペキュラム, 111: 表紙, 1./2006.III.31, オオハム?, 出雲市十六島町。
- 北脇 努 (2006) 表紙写真と解説. スペキュラム, 112: 表紙, 1./2006.V.2, ツバメチドリ, 出雲市灘分町。
- 北脇 努 (2006) 赤青黄色に白黒の鳥'06(鰐淵寺). スペキュラム, 112: 9-10./平田市鰐淵寺, 2006.V.20, 25種。
- 北脇 努 (2006) 表紙写真と解説. スペキュラム, 113: 表紙, 1./2006.VIII.20, キンクロハジロ, 松江市玉湯町。
- 北脇 努 (2006) 表紙写真と解説. スペキュラム, 114: 表紙, 1./2006.IX.23, ヒクイナ, 宍道湖西岸。
- 榎田一夫 (2003) 飯梨川河口探鳥会報告. スペキュラム, 92: 8./2003.II.9, ハイイロチュウヒなど32種を確認。
- 榎田一夫 (2004) 早春の飯梨川で出会う鳥. スペキュラム, 99: 8./2004.III.14, 26種。
- 榎田一夫 (2004) 飯梨川河口探鳥会報告. スペキュラム, 102: 6./2004.IX.19, 31種。
- 榎田一夫 (2005) 秋の飯梨川河口で出会う鳥. スペキュラム, 108: 8./2005.IX.11, 20種。
- 桑原 崇 (2003) 平成14年夏, 城山の鳥. スペキュラム, 92: 2./7-8月に8回の調査で23種を確認。
- 森 茂晃 (2004) 宍道湖の冬鳥ウォッチング. スペキュラム, 98: 7。
- 森 茂晃 (2006) 出雲市平田地域のため池生物調査(4)ため池で観察した鳥類. HGF研報, 9: 57-65。
- 森 茂晃 (2006) 斐伊川河口の鳥たち1月. スペキュラム, 110: 5-6。
- 森 茂晃・星野由美子 (2006) ブッポウソウ探し(速報). スペキュラム, 113: 6。
- 森 茂晃・佐藤仁志 (2003) 斐伊川・神戸川水系におけるヤマセミの営巣状況. HGF研報, 6: 51-58./斐伊川, 神戸川水系とその周辺地域における崖地58カ所の営巣地を調査(大谷・脇坂(1998)の追跡調査). 崖面の崩落や人為的改変により巣穴の消失率がかなり高いことがわかったという。
- 森 茂晃・佐藤仁志 (2005) ヤマセミの造巣場所選択について. HGF研報, 8: 247-253。
- 本吉洋子 (2003) 飯梨川河口02年秋のシギ・チドリPart2. スペキュラム, 91: 4./シギ・チドリ21種ほかにマナヅル, ズグロカモメ, アカツクシガモなどを観察。
- 本吉洋子 (2003) 飯梨通信. スペキュラム, 92: 4./飯梨川河口(安来市)にてズグロカモメ, コクガンなど。
- 本吉洋子 (2003) 飯梨通信. スペキュラム, 93: 3./飯梨川河口(安来市)にてコチドリ, コハクチョウ, コブハクチョウ, モンシロチョウ(著者註!)などの観察記録。
- 本吉洋子 (2003) 飯梨川河口→論田+荒島(4/25-5/17)春のシギ・チドリ. スペキュラム, 94: 5。
- 本吉洋子 (2003) 飯梨通信. スペキュラム, 95: 2./飯梨川河口にてチュウシャクシギ, アオアシシギなど。
- 本吉洋子 (2003) 飯梨2003年秋のシギチドリ. スペキュラム, 96: 4。
- 本吉洋子 (2004) 飯梨通信～飯梨川の冬の名物ホシムクドリについて. スペキュラム, 97: 5./ホシムクドリの年別渡来数のグラフなど。
- 本吉洋子 (2004) 飯梨通信. ズグロカモメ. スペキュラム, 98: 3。
- 本吉洋子 (2004) 飯梨通信. スペキュラム, 99: 2。
- 本吉洋子 (2004) 飯梨通信. 春のシギチドリ. スペキュラム, 100: 4。
- 本吉洋子 (2004) 飯梨通信. 春のシギチドリ. スペキュラム, 101: 3。
- 本吉洋子 (2004) 飯梨通信. 秋のシギチドリ. スペキュラム, 102: 2。
- 本吉洋子 (2005) 飯梨通信. ホシムクドリ. スペキュラム, 103: 3。
- 本吉洋子 (2005) 飯梨川2004年鳥類リスト. スペキュラム, 104: 3./191種。
- 本吉洋子 (2005) 飯梨通信. スペキュラム, 105: 3。
- 本吉洋子 (2005) 飯梨川05年春のシギチドリ. スペキュラム, 106: 9。
- 本吉洋子 (2005) 飯梨通信. カラシラサギ. スペキュラム, 107: 4。
- 本吉洋子 (2005) 飯梨2005年秋のシギチドリ. スペキュラム, 108: 3。
- 本吉洋子 (2006) 2006年春のシギ・チドリ-飯梨～論田～上荒島. スペキュラム, 112: 4。
- 本吉洋子 (2006) 飯梨川ミサゴ90年～06年7月. スペキュラム, 113: 4。
- 本吉洋子 (2006) 2006年飯梨川秋のシギ・チドリ. スペキュラム, 114: 10。
- 長廻哲雄 (2003) 鳥たちの渡り 平成15年春. スペキュラム, 94: 3-4./ミヤマガラス, サシバ, ハイタカ, オオタカ, ハイイロチュウヒ, ツミ。
- 長廻哲雄 (2004) 鳥たちの渡り 平成15年秋. スペキュラム, 97: 2-4./ハイタカ, ツミ, オシドリ, カルガモなど。
- 長廻哲雄 (2004) 神西湖探鳥会報告. スペキュラム, 97: 10./2003.XII.14, カイツブリ, ハジロカイツブリ, カンムリカイツブリなど27種。
- 長廻哲雄 (2004) 鳥たちの渡り. スペキュラム, 100: 7-8。
- 日本野鳥の会島根県支部 (2003) 島根県に生息するカモ科鳥類(2001年度の調査結果). HGF研報, 6: 43-49./2001.X-2002.IIIにおける宍道湖, 神西湖, 中海, 蟠竜湖, 高津川河口などにおけるガン・カモ類の調査結果。コハクチョウは最多347羽, マガンは最多2340羽を確認。
- 日本野鳥の会島根県支部 (2005) 平田風力発電事業(仮称)

- 計画について要望書の提出. スペキュラム, 106: 2-4./十六島鳥類リスト100種。
- 野津幸夫 (2003) 枕木山探鳥会報告. スペキュラム, 95: 6./2003.VIII.17, 松江市枕木山にてヤブサメ, アマツバメなど15種。
- 野津幸夫 (2004) 枕木山のヤマヒバリ. スペキュラム, 98: 2.
- 野津幸夫 (2005) 大根島バードウォッチング. スペキュラム, 107: 6./2005.III.13, 24種。
- 野津幸夫 (2005) 枕木山探鳥会. スペキュラム, 107: 7-8./2005.VI.19, 20種。
- 野津幸夫 (2005) 枕木山バードウォッチング. スペキュラム, 108: 7-8./2005.VIII.21, 18種。
- 野津幸夫 (2006) 枕木山バードウォッチング. スペキュラム, 114: 7-8./2006.VIII.20, 19種。
- 奥山正樹 (2004) 狩猟鳥ウズラ *Coturnix japonica* の現状. 山階鳥類額雑誌, 35: 189-202./都道府県別のウズラの最多捕獲年代 (1920-1960年代) の図があり, それが, 鳥取県では1930~1939年, 島根県は残りの中国地方3県とともに1920~1929年と色分けされている。(NT)
- 関谷義男 (2003) 閉鎖性沿岸域の生態系と物質循環. 海洋と生物, 25(3): 182-188./宍道湖・中海のキンクロハジロの筋胃重量が異なるのは, 食性の違いによること, 採餌行動が違うことなどから, キンクロハジロには宍道湖を選好する集団と中海を選好する集団が, 消化器官の可塑性を介し, 遺伝的に決まっているかもしれないという。(KY)
- スペキュラム編集部 (2003) 2002-03年 (冬) の鳥情報について. スペキュラム, 94: 7-8./2002.XI-2003.III, ヒメウ, サンカノゴイ, コクガンなどの観察例の少ない鳥41種の観察記録。
- スペキュラム編集部 (2003) フィールドノート. スペキュラム, 96: 6.
- 杉本 章 (2003) 斐伊川河口探鳥会報告. スペキュラム, 92: 7./2003.I.19, 33種。
- 杉本 章 (2005) 冬本番! 斐伊川河口の鳥たち. スペキュラム, 104: 8./2005.I.23, 35種。
- 【両生・爬虫類】**
- 大和村教育委員会 (2003) オオサンショウウオとの共生をめざして. 季刊文化財, 103: 8-10.
- 林 成多 (2005) 鱒淵寺におけるカエル類の観察記録 (2003-2004), HGF研報, 8: 1-12.
- 林 成多 (2005) 島根県におけるシロマダラの採集例. HGF研報, 8: 184.
- 林 成多 (2006) 出雲市鱒淵寺におけるモリアオガエルの産卵 (2005年). HGF研報, 9: 66.
- 林 成多 (2006) 出雲市鱒淵寺におけるヤマアカガエルの産卵 (2005年). HGF研報, 9: 120.
- 平田市立鱒淵小学校猪目分校 (2004) 「カジカガエルと猪目分校の子どもたちIII」, 72 pp. マイクロチップを33匹に入れて追跡調査, 行動範囲などを調査。また仁万町 (潮川), 温泉津町 (苧川), 江津市 (敬川), 三隅町 (三隅川) で河川調査を実施している。
- 井上明日香・秋吉英雄・内藤富夫 (2003) 島根県のタゴガエル *Rana tagoi tagoi* の生息状況. HGF研報, 6: 193-199./仁多郡内および島根半島部におけるタゴガエルの生息状況調査のまとめ。
- 季刊文化財編集部 (2003) 緊急保護したオオサンショウウオ回復し放流. 季刊文化財, 105: 11-12./瑞穂町出羽川でハンザケ自然館が緊急保護したオオサンショウウオをH15.IV.4放流。
- 松井正文 (2003) 鳥取県を中心とした中国地方における両生類の地理的分化. pp. 31-35. In: 川上靖 (編) 特別展「世界どうぶつ物語」展示解説書, 鳥取県立博物館, 60 pp./中国地方のサンショウウオ類, カエル類の遺伝的分化のパターンに関する近年の研究結果の総説。分化の境界が鳥取県や島根県を通過するものが多数あることがわかる。(NT)
- Matsui, M., Nishikawa, K., Utsunomiya, T. and Tanabe, S. (2006) Geographic allozyme variation in the Japanese clouded salamander, *Hynobius nebulosus* (Amphibia: Urodela). Biological Journal of the Linnean Society, 89: 311-330./西日本に広域に分布するカスミサンショウウオ46集団についてアロザイム分析を行なった。いずれの遺伝子座でも西部群 (九州~中国地方西部) と東部群 (四国・近畿・中部地方) の間には明瞭なギャップが見いだされた。この両者間ほど明瞭ではないが, 従来から知られていた中国山地の高地群と低地群の間にも一定のギャップがあるようである。西部群の中国地方での東限は島根県高津川近辺で, それより東ではどの群にも帰属させられない集団を介して, て低地群, 高地群に置換している点が面白い。(NT)
- 中村丈志 (2006) 島根県のカエル類. pp. 117-120. In: 日本生物教育会島根大会実行委員会 (編) 新島根の生物. 日本生物教育会島根大会実行委員会 (出雲市), 274 pp.
- 野津幸夫・吉岡武雄 (2003) 隠岐に稀なヘビ発見!!—シロマダラ発見記—. 隠岐の文化財, (19): 54-55./2001.VIII.4, 隠岐西郷町犬来の男池東岸でシロマダラを採集。標本は鳥取県立博物館に保管。隠岐では60年ぶりの発見となるという。(KY)
- 島田 孝 (2005) 隠岐島前の西ノ島からオキタゴガエルの初記録. HGF研報, 8: 218.
- 田中幸治・森哲・栃本武良 (2003) オオサンショウウオに

- よるアオダイショウの捕獲. 両生類誌, 10: 21-22. / 2001年5月20日に, 仁多郡仁多町で荒砂憲一郎氏がアオダイショウを捕食するオオサンショウウオを目撃, 写真撮影した。2003年4月16日に栃本武良氏がこのオオサンショウウオを実際に観察, 測定, マイクロチップを注入後, リリースした。(KY)
- 寺岡誠二・古林敏彦・淀江賢一郎(編) (2003) 宍道湖自然館第6回特別展「まみずのカメ」展示解説書 まみずにするカメの現状と未来. 島根県立宍道湖自然館, 92 pp.
- 栃本武良 (2003) 特別天然記念物オオサンショウウオ. 季刊文化財, 105: 2-5. / 仁多郡仁多町, 荒砂憲一郎さん方のオオサンショウウオの調査。(KY)
- 栃本武良 (2003) オオサンショウウオの文献目録II. HGF研報, 6: 173-191. / オオサンショウウオに関する文献458編。なお, 栃本 (2000) は266編, また, 大野正男 (1991) は570編をまとめており, 合計すると本種に関する文献は約1300点がリストアップされたことになるという。(KY)
- 栃本武良・清水邦一 (2004) オオサンショウウオの生態調査と個体識別. HGF研報, 7: 169-178.
- 寺岡誠二・古林敏彦・淀江賢一郎編 (2003) 「まみずにするカメの現状と未来」, 96 pp. 島根県立宍道湖自然館第6回特別展「まみずのカメ」展示解説書.
- 吉郷英範・中村慎吾 (2003) 比和町立自然科学博物館両生・爬虫類収蔵標本目録. 比和科学博物館標本資料報告, 4: 77-84. / 次の島根県産標本が含まれる。カスミサンショウウオ, オキサンショウウオ, イモリ, ニホンアカガエル, オキタゴガエル, ツチガエル, ニホントカゲ, シマヘビ, ヤマカガシ, ニホンマムシ。(KY)
- 山内健生 (2003) 隠岐島前の中ノ島と知夫里島におけるニホンヤモリの記録. 山陰自然史研究, 1: 18-19.
- 山内健生 (2003) 隠岐島前の中ノ島で撮影されたニホンアカガエル. 山陰自然史研究, 1: 18-19.
- 吉郷英範・中村慎吾 (2003) 比和町立自然科学博物館両生・爬虫類収蔵標本目録. 比和町立自然科学博物館標本資料報告, 4: 77-84. / 次の種に島根県産の標本が含まれる: カスミサンショウウオ(湖陵町, 4-II-2000), オキサンショウウオ(島後都万村, 7-V-2000), イモリ(島後西郷町, 5-V-2000), ニホンアカガエル(島後都万村, 4-V-2000; 西郷町, 7-V-2000), オキタゴガエル(島後都万村, 5~7-V-2000), ツチガエル(島後西郷町 7-V-2000), シュレーゲルアオガエル(島後西郷町, 6-V-2000), ニホントカゲ(島後西郷町, 6-V-2000), ヒバカリ(出雲市, 26-IX-2001), シマヘビ(島後五箇村, 4-V-2000), ヤマカガシ(湖陵町, 27-IX-年不明), ニホンマムシ(島後西郷町, 6-V-2000)。(NT)

【魚類】

- 秋吉英雄・富室孝仁・井上明日香 (2003) ハゼ科魚類の肝臓の比較組織化学的研究- 肝臓の組織学的特徴と系統発生および棲息様式との関連. HGF研報, 6: 201-213. / 日本産ハゼ垂目26種の肝臓の形態, 組織, 中性脂肪とグリコーゲンなどの比較研究。なかでもシンジコハゼはハゼ科のなかでも特異的な肝臓組織像を呈しているという。
- 荒井 彰 (2004) メダカの種苗生産について. 隠岐の文化財, (21): I-IV.
- 平山琢郎・中越信和・頭山昌郁 (2003) 中四国地方における広島県の淡水魚類相の位置づけ. 日本生物地理学会会報, 58: 21-34. / 広島県内の6河川と近県の7河川を淡水魚相にもとづきクラスター分析した。その結果, (高梁川+旭川+芦田川)((黒瀬川+沼田川+肱川+重信川)((錦川+佐波川+太田川+小瀬川)(江の川+斐伊川)の順で4群が区別された。高梁川+旭川+芦田川のそれが, それより西方の河川と大きくことなるのは, ウルム氷期以前の水系のつながりの影響によるものであることを示唆。(NT)
- 廣田理史 (2006) 宍道湖・中海の魚類. pp. 133-137. In: 日本生物教育会島根大会実行委員会 (編) 新島根の生物. 日本生物教育会島根大会実行委員会 (出雲市), 274 pp.
- 梶谷敏樹 (2006) 島根県の淡水魚. pp. 127-131. In: 日本生物教育会島根大会実行委員会 (編) 新島根の生物. 日本生物教育会島根大会実行委員会 (出雲市), 274 pp.
- 環境省自然環境局・生物多様性センター (編) (2003) 「生物多様性調査動物1分布調査報告(淡水魚類)」, 545 pp. / 343種について分布情報を図示。
- 川上 靖・平尾和幸・一澤 圭・安藤重敏 (2005) 島根県温泉津町沖で漁獲された大型マンボウ *Mola mola* の記録. 鳥取県立博物館研究報告, 42: 29-30.
- 越川敏樹 (2003) 宍道湖・中海水域における魚類の産卵及び稚幼魚の出現状況. HGF研報, 6: 139-151. / 2003.III~XI, 宍道湖(松江市浜佐田町), 中海(安来市論田町)における稚幼魚調査のまとめ。コノシロ, サッパ, カタクチイワシ, ダツ, サヨリ, トウゴロイワシ, ヒイラギ, ビリンゴ, クサフグなど70種。
- 越川敏樹 (2005) 中海・宍道湖水域に生息するハゼ類の棲息状況. HGF研報, 8: 19-240.
- 越川敏樹 (2006) 宍道湖・中海水域における魚介類: 最近の生息状況. pp. 139-151. In: 日本生物教育会島根大会実行委員会(編)新島根の生物. 日本生物教育会島根大会実行委員会(出雲市), 274 pp.
- 尾原和夫 (2006) しまね生物教師列伝④“イシドジョウ”の第一発見者 神代哲郎 (1919-1988), p. 138. In: 日本生物

- 教育会島根大会実行委員会 (編) 新島根の生物. 日本生物教育会島根大会実行委員会 (出雲市), 274 pp.
- 森田健太郎・山本祥一郎 (2004) 第7章. 2. ダム構築による河川分断化がもたらすもの～川は森と海をつなぐ道～. pp. 281-312, In: 前川光司 (編) サケ・マスの生態と進化. 335 pp./砂防ダムによる河川分断化がもたらす遺伝的劣化の一例として島根県周布川水系の砂防ダム上流で採集されたゴギのすべての個体の背びれが奇形になっていたという事例の紹介がある。オリジナルはMorita and Yamamoto 2000, *Fisheries Management and Ecology*, 7: 551-553. (NT)
- 佐々木 興 (2006) 中海で採集された島根県初記録種のウマツツラアジ (スズキ目アジ科). HGF研報, 9: 295-296.
- 島根県景観自然課 (2002) 「河川調査報告書(高津川水系)白上川, 程彼川, 津和野川, 石谷川, 紙祖川, 広見川」, 67 pp./高津川水系の6本の支流について, 2001年8月の調査結果。調査責任者は平塚純一。淡水魚28種類を確認。ゴギ, イシドンコなど。
- Sota, T., Muraki, T., Shinozaki, T., Sato, H., and Yodoe, K. (2005) Genetic differentiation of the gobies *Gymnogobius castaneus* and *G. taranetzi* in the region surrounding the Sea of Japan as inferred from a mitochondrial gene genealogy. *Zoological Science*, 22: 87-93./*Gymnogobius taranetzi* シンジコハゼ および *G. castaneus* ジュズカケハゼとして扱われている種に焦点をあてた*Gymnogobius* 属のハゼのミトコンドリアチトクロームb 遺伝子の塩基配列に基づく系統解析。現在シンジコハゼおよびジュズカケハゼとして分類されているハゼはどちらも多系統であることが判明。材料に, シンジコハゼでは宍道湖と益田市大タライ池, ビリンゴとニクハゼでは中海のサンプルが含まれる。(NT)
- Takehana, Y., Nagai, N., Matsuda, M., Tsuchiya, K. and Sakaizumi, M. (2003) Geographic variation and diversity of the cytochrome b gene in Japanese wild populations of Medaka, *Oryzias latipes*. *Zoological Science*, 20: 1279-1291./日本各地303地点の1225個体に基づく, メダカのチトクロームb遺伝子の地理的変異。丹後半島以西から島根県中部付近までの山陰にはサブクレードB-Xが, 島根県西部から北九州, 対馬にはサブクレードB-IXが分布。山陽を含む瀬戸内側に分布するサブクレードB-VIIも山口県東部でサブクレードB-IXに置換。関東地方では日本各地ののタイプがみられ, 人為移入による遺伝子攪乱が頻繁に起きていることが実証された。(NT)
- 多久和剛史・古林敏彦・辻井要介・山口勝秀 (2004) 「のぞけばそこにメダカたち」. 島根県立宍道湖自然館第8回特別展解説書. 82 pp.
- 玉置 仁・中山恭彦・新井省吾 (2006) 島根県隠岐の島町における藻食性魚類アイゴの海藻5種に対する食害状況. HGF研報, 9: 121-125.
- 椿 昌夫 (2006) 島根県海産魚類. pp. 121-126. In: 日本生物教育会島根大会実行委員会 (編) 新島根の生物. 日本生物教育会島根大会実行委員会 (出雲市), 274 pp.
- 山口勝秀 (2003) 島根県におけるカワアナゴの初採集記録. HGF研報, 6: 64./益田川, 江の川よりカワアナゴを記録。島根県から114種目の淡水魚となる。ちなみに113種目はイシドンコ。
- 山口勝秀・淀江賢一郎 (編) (2003) 宍道湖自然館第5回特別展「金魚・銀魚・鉄魚—いづもナンキンノルーツを探る—」展示解説。金魚・銀魚・鉄魚, 島根県立宍道湖自然館, 68 pp./イヅモナンキンについて文化誌的側面からの概説など。
- 山口勝秀・黒崎光恵・淀江賢一郎(編)(2004) ゴビウス・スタディ *Gobius Study* 第2集 (51-100号合本). 島根県立宍道湖自然館, 102 pp.
- Yamamoto, S., Morita, K., Kitano, S., Watanabe, K., Koizumi, I., Maekawa, K. and Takamura, K. (2004) Phylogeography of White-spotted Charr (*Salvelinus leucomaenis*) inferred from mitochondrial DNA sequences. *Zoological Science*, 21: 229-240./材料に兵庫県円山川, 鳥取県天神川のイワナ*Salvelinus leucomaenis pluvius*, 島根県斐伊川, Sufu川, 高津川のゴギ*Salvelinus leucomaenis imbricus*が含まれる。(NT)
- 吉郷英範 (2003) 八幡高原(広島県芸北町)のカワヨシノボリ. HGF研報, 6: 27-42./広島県太田川水系にてカワヨシノボリに斑紋の異なる2型(斑紋型, 無紋型)を確認。近隣地域での両者の分布は, 日本海側では島根県西部と山口県, 福岡県北部に斑紋型, それより東側には無紋型と明瞭に分かれていた。ただし, 島根県の東端と鳥取県の日野川上流に一部, 斑紋型の集団があった。(NT)
- 吉郷英範・中村慎吾 (2003) 比和町立自然科学博物館魚類収蔵標本目録 (III). 比和町立自然科学博物館標本資料報告, 4: 31-75. /広島県, 沖縄県産標本が大半だが, 次の種に島根県産の標本が含まれる: アカヒレタビラ (大田市, 16-VI-2002), バラタナゴ(宍道湖), モツゴ (大田市大原川), ムギツク (匹見川), カワヒガイ (邑智町江の川浜原ダム), タカハヤ (匹見川, 多伎町田儀川), ウグイ (宍道湖), イシドジョウ (浜田市周布川), ドジョウ (宍道湖, 弥栄村三隅川), ギギ (匹見川), アユ(宍道湖), シラウオ (宍道湖), メダカ(宍道湖), カマキリ(多伎町田儀川), ドンコ (宍道湖), 佐田町神戸川, 金城町浜田川), イシドンコ (匹見町, 六日市町, 美都町, 舩田市, 江津市), スミウキゴリ (仁摩町潮川), シンジコハゼ (宍道湖)

- 湖), ウキゴリ (浜田市久代川), ゴクラクハゼ (益田市白上川), カワヨシノボリ無斑型 (金城町周布川, 佐田川神戸川, 大田市銀山川など), カワヨシノボリ斑紋川 (六日市町鹿足河内川, など), シマヨシノボリ (美都町宇津川など), ルリヨシノボリ (多伎町田儀川), クロヨシノボリ (多伎町田儀川), オオヨシノボリ (多伎町田儀川), トウヨシノボリ穴道湖型 (益田市白上川など), トウヨシノボリ橙色型 (美都町板井川), ヌマチチブ (穴道湖), チチブ (浜田市久代川), ウマヅラハギ (大田市). (KY, NT)
- 吉郷英範・佐々木興・吉野哲夫 (2004) メガネツバクロエイ (軟骨魚綱: トビエイ目(ツバクロエイ科)はツバクロエイの新参異名. HGF研報, 7: 155-167.
- Watanabe, K., Mori, S. and Nishida, M. (2003) Genetic relationships and origin of two geographic groups of the freshwater threespine stickleback, 'hariyo'. *Zoological Science*, 20: 265-274. / 日本産ハリヨのミトコンドリアDNAチトクロームb遺伝子による系統解析。材料に穴道湖産の集団が含まれる。(NT)

【昆虫類】

- 秋山耕治 (2006) 思わずにんまり紀行～島根県「仁万」. SPINDA, 21: 33-36. / ギフチョウとウラナミジャンメの探索記。
- 秋山耕治 (2006) 日本各地島めぐり～大根島. SPINDA, 21: 104-105. / 2005.IX.16, 大根島でアゲハなど蝶6種の採集記録。
- 秋山美文 (2003) 広島県産甲虫の分布記録7. 比和科学博物館研究報告, 42: 45-60.+3 pls. / 広島県のゾウムシ上科149種の目録。島根県内で採集された7種のデータを含む。リンゴコフキゾウムシ, カシワクチブトゾウムシ, ヤサイゾウムシ, アカイネゾウモドキ, アカアシノミゾウムシ, タデサルゾウムシ, マツノシラホシゾウムシ。
- 秋山美文 (2004) 比和町立自然科学博物館所蔵の甲虫標本(5). 比和科学博物館研究報告, 43: 115-131. / 益田市で採集された甲虫が相当数含まれている。
- 秋山美文 (2005) 広島県産のヒメドロムシ科. 比和科学博物館研究報告, 44: 207-221. / 出雲市の記録などが含まれる。
- ぱったりぎす編集部 (2003) 都道府県別直翅目分布表試作版の改訂について. ぱったりぎす, 134: 65-85. / 仮目録として鳥取県60種, 島根県85種, 隠岐島45種が印されている。ちなみに直翅目研究者のいる山口県は123種。
- 浅井潤治 (2005) 島根県でキュウシュウトゲバカミキリを採集. 月刊むし, 418: 6. / 出雲市塩津町, 2005.VII.13, 2♂3♀。島根県2例目。
- 筆谷憲一 (2006) 島根県東部・隠岐諸島の蝶観察記録2005年. すかしば, 54: 20-21.
- 藤井正治 (2003) 安来市佐久保町の野生物相第II報コウチュウ目その他の採集目録. すかしば, 51: 17-29. / 263種の採集目録。
- 藤原淳一 (2006) 島根県松江市におけるベーツヒラタカミキリの発生状況. HGF研報, 9: 145-149.
- 藤原淳一 (2006) 松江市でビロードハマキを目撃. すかしば, 54: 16.
- 藤原淳一 (2006) 松江市ソフトビジネスパーク島根の甲虫. すかしば, 54: 69-70. / 20種。
- 福井修二 (2004) アオマダラタマムシの越冬個体をモチノキから採集. すかしば, 52: 7.
- 福井修二 (2004) 冬虫夏草に寄生されたトゲアリの採集記録. すかしば, 52: 7.
- 福井修二 (2004) オニクワガタの採集記録. すかしば, 52: 9. / 1994.IX.17, 1♀。匹見町安蔵寺山。
- 英 裕人(編) (2003) 「昆虫関連団体雑誌年鑑2003」. フタオ会 (鳥取市), 159 pp. 2000円. / この雑誌年鑑シリーズは国内で発行された昆虫記事が含まれる雑誌記事の総覧を目指したもの。直接に鳥取県, 島根県のファウナに関するものではないが, 鳥取市在住の英裕人氏が一人ですすめている超人的な事業として特記する。(KY)
- 英 裕人(編) (2004) 「昆虫関連団体雑誌年鑑2004」. フタオ会 (鳥取市), 170 pp. 2000円.
- 英 裕人(編) (2005) 「昆虫関連団体雑誌年鑑2005」. フタオ会 (鳥取市), 174 pp. 2000円.
- 英 裕人(編) (2006) 「昆虫関連団体雑誌年鑑2006」. フタオ会 (鳥取市), 168 pp. 2000円.
- 林 成多 (2004) 総説・日本のネクイハムシ亜科. HGF研報, 7: 29-126.
- 林 成多 (2004) 日本産ネクイハムシ亜科の絵解き検索による同定. HGF研報, 7: 127-136.
- 林 成多 (2004) 平田市で採集した甲虫類ゲンゴロウ科・ガムシ科・ハムシ科について. すかしば, 52: 27-29.
- 林 成多 (2004) 平田市でイネネクイハムシを採集. すかしば, 52: 9. / 平田市園町沖ノ島, 2003.VI.19, 2 exs. 移植したアサザのある人工池から発見。島根県初記録。
- 林 成多 (2004) 平田市でクチキコオロギを採集. すかしば, 52: 32.
- 林 成多 (2004) イネネクイハムシの交尾・産卵行動. 月刊むし, 406: 15-16.
- 林 成多 (2005) 斐伊川河川敷でカンムリセスジゲンゴロウを採集. すかしば, 53: 37.
- 林 成多 (2005) 「改定しまねレッドデータブック」に掲

- 載された直翅類の観察記録. すかしば, 53: 38-39.
- 林 成多 (2005) 日本産ネクイハムシ亜科の分布記録(1)ミズクサハムシ属. HGF研報, 8: 39-70.
- 林 成多 (2005) 鳥根県宍道湖西岸のビオトープ池で確認された水生昆虫(2003年). HGF研報, 8: 255-258.
- 林 成多 (2005) ネクイハムシ亜科の雄交尾器骨片の形態学的研究. HGF研報, 8: 259-288.
- 林 成多 (2006) 鳥根県出雲市におけるツヤヒラタガムシの記録. HGF研報, 9: 56.
- 林 成多 (2006) 鳥根県産ハムシ科目録. HGF研報, 9: 67-111./207種(ブタクサハムシを含めると208種)。
- 林 成多 (2006) 宍道湖西岸の干潟に生息するゴミムシ類. HGF研報, 9: 112.
- 林 成多 (2006) 雲南市木次町ふるさと尺の内公園の水生昆虫類. HGF研報, 9: 113-119./42種。
- 林 成多 (2006) 日本産ネクイハムシ亜科の分布記録(2) ネクイハムシ属・キイロネクイハムシ属. HGF研報, 9: 151-192.
- 林 成多 (2006) 鳥根県宍道湖西岸のビオトープ池で確認された水生昆虫(2003-2005年). HGF研報, 9: 193-202.
- 林 成多 (2006) 出雲市神戸川河口の海浜性昆虫類. HGF研報, 9: 120.
- 林 成多 (2006) 出雲市大社町でオオキンカメムシを撮影. すかしば, 54: 11.
- 林 成多 (2006) 益田市河口の環境が激変!. すかしば, 54: 16.
- 林 成多 (2006) 鳥根県産ヤマトタマムシとアオマダラタマムシの記録. すかしば, 54: 16.
- 林 成多 (2006) 出雲市の海岸で採集したウミコオロギ. すかしば, 54: 29.
- 林 成多 (2006) 鳥根県と鳥取県のムネアカアワフキの記録. すかしば, 54: 36.
- 林 成多 (2006) 鳥根県東部でのハマダラハルカの記録. すかしば, 54: 36.
- 林 成多 (2006) 鳥根半島西部でのイシガケチョウの記録(2004年). すかしば, 54: 61.
- 林 成多 (2006) 雲南市尺の内公園のウシカメムシ. すかしば, 54: 61.
- 林 成多 (2006) 三刀屋町峯寺で採集した甲虫類. すかしば, 54: 62.
- 林 成多 (2006) 雲南市大東町で採集した止水性の水生昆虫. すかしば, 54: 63-64.
- 林 成多 (2006) 飯南町赤名のツヤネクイハムシとババスゲヒメゾウムシ. すかしば, 54: 65.
- 林 成多 (2006) 雲南市大東町で採集した止水性の水生昆虫. すかしば, 54: 63-64.
- 林 成多 (2006) オオヒョウタンゴミムシ成虫の出現時期について. すかしば, 54: 65.
- 林 成多 (2006) 「改定しまねレッドデータブック」に掲載された直翅類の観察記録(その2). すかしば, 54: 66.
- 林 成多 (2006) 松江市城山のヒナカマキリ. すかしば, 54: 66-67.
- 林 成多 (2006) シジミガムシ属について. すかしば, 54: 67-69.
- 林 成多・初宿成彦・八木 剛・曾田貞滋・岩井大輔(2003) 中国山地およびその周辺地域における湿地性ハムシ類の保全生物学的研究. HGF研報, 6: 1-25./中国山地におけるネクイハムシ類など湿地性ハムシの生息状況のまとめ。次の種に鳥取県の記録が含まれる(ただし文献記録): キヌツヤミズクサハムシ(スゲハムシ)(唐川湿原, 菅野湿原), イネネクイハムシ(青谷町露谷), ガガブタネクイハムシ(鳥取市古郡家の用水池), (NT)
- 林 成多・藤原淳一・島田 孝・米田知祐・六車恭子・成田行弘(2006) 隠岐諸島の昆虫相に関する一資料—2005年8月7-10日に島後で採集・観察した昆虫類の目録—. HGF研報, 9: 245-263./304種(うち隠岐初記録は47種)。
- 林 成多・島田 孝(2005) 隠岐島後でチャイロチビゲンゴロウを採集. すかしば, 53: 48./2004.VIII.7, 布施村卵敷。2004.IX.13, 都万村大津久。隠岐初記録。
- 林 成多・島田 孝(2006) 鳥根県東部および隠岐諸島のヒメドロムシ類. HGF研報, 9: 127-143./2004年~2005年。鳥根県東部19種, 隠岐諸島7種, うち鳥根県初記録は8種。
- 星川和夫(2005) 三瓶山のウスイロヒョウモンモドキ: モニタリングの結果と保全対策. 鳥根県立三瓶自然館研究報告, 3: 89.
- 星川和夫・門脇和也(2003) イワタメクラチビゴミムシの追加記録. HGF研報, 6: 98./大根島, 2002.X.19.
- 星川和夫・中菌洋行(2003) ウスイロヒョウモンモドキの卵期間・蛹期間に及ぼす温度の影響. 中国昆虫, 16: 45-48.
- 星川和夫・中菌洋行(2005) 三瓶山のウスイロヒョウモンモドキ: モニタリングの結果と保全対策の概要. 日本鱗翅学会中国支部報, 6: 5.
- 星川和夫・米山沙希(2006) 山陰のルリシジミ属の生活史における諸問題. 日本鱗翅学会中国支部報, 7: 6-7./材料は松江市のルリシジミ, 鳥取県三徳山のスギタニルリシジミ。
- 稲田和久(2005) 江の川水系のカワゲラ類の種類相(第3報). 比和科学博物館研究報告, 44: 223-229./21種。初記録はウスムネコナガカワゲラ, サトモンオナシカワゲラなど。

- 今坂正一 (2005) 日本産アオハムシダマシ属の再検討. 比和科学博物館研究報告, 44: 61-163. / 全国の採集記録のなかに島根県から隠岐島のデータが含まれる。
- 今坂正一 (2006) 「日本産アオハムシダマシ属の再検討」への訂正と追加. 比和科学博物館研究報告, 46: 77-82. / 隠岐・西の島町産の個体について図示と解説。
- 今坂正一 (2006) 日本産アオハムシダマシ図鑑. 月刊むし, 421: 20-35. / 隠岐固有種アキアオハムシダマシ。
- 今坂正一・中村慎吾 (2003) 広島県のジョウカイボン相 (第7報). 中村慎吾 / 次の6種の島根県産データを含む。ホッカイジョウカイ, ヒメジョウカイ, ババジョウカイ, 西日本亜種, セボシジョウカイ, クビボソジョウカイ, クロニンフジョウカイ。
- 池崎善博・中村慎吾 (2003) 広島県のハナアブ類(VI). 比和科学博物館研究報告, 42: 75-82. / オオヒメヒラタアブ, クロヒラタアブ, ホソヒラタアブ, フタホシヒラタアブ, ナミホシヒラタアブ, ホソヒメヒラタアブ, キタヒメヒラタアブ, キベリヒラタアブ, サッポロヒゲナガハナアブ, ホシツヤヒラタアブ, ノヒラマメヒラタアブ, クロコヒラタアブ, ホソモモトハナアブ, シマハナアブ, キョウコシマハナアブ, ナミハナアブ, オオハナアブ, キカオナガハナアブ, ナミルリイロナガハナアブの19種の島根県産データを含む。
- 池崎善博・山内健生 (2006) 島根県のハナアブ科, 山陰自然史研究, 2: 13-17.
- 猪又敏男 (2005) 日本の蝶 (17) キチョウ. 月刊むし, 408: 33-37. / 島根半島で採集された裏面の赤いツマグロキチョウについて。
- 石川佳宏 (2004) ギフチョウ属とその食草カンアオイ属文献資料一覧. HGF研報, 7: 179-260.
- 石谷正字 (2004) ゴミムシ相およびその生物学的研究 (5) 島根県隠岐島の異なる植生タイプでの種構成. 中国昆虫, 17: 13-18. / 隠岐島後の植生の異なる4地点でのピットフォールトラップによってオサムシ科とホソクビゴミムシ科の18種270個体を採集。植生の違いにもかかわらず, 群集は島根半島のそれよりも島後内で類似していた。(NT)
- 伊藤 寿 (2005) 島根県島根半島でウラナミジャノメを採集. 月刊むし, 418: 18.
- 伊藤 寿 (2006) 島根県におけるホシミスジとウラナミジャノメの採集例. すかしば, 54: 15.
- 伊藤 寿 (2006) 中国地方のホシミスジの謎. 日本鱗翅学会中国支部報, 7: 4-6.
- Ishiwata, S. (2003) A revision of the genus *Cincticostella* (Insecta: Ephemeroptera: Ephemeellidae) from Japan. *Species Diversity*, 8: 311-346. / *Cincticostella*属カゲロウの分類学的改訂. 次の種の検討標本に島根県産の標本が含まれる: *Cincticostella elongatula* (McLachlan) オオクママダラカゲロウ (匹見川石見横田, 匹見川高津, 隠岐布施) *C. nigra* (Uéno) クロマダラカゲロウ (匹見川匹見, 匹見川石見横田)(NT)
- 伊藤良輔・星川和夫 (2003) マユタテアカネ雌雄成虫における生息空間の季節的变化. HGF研報, 6: 93-97. / 大田市三瓶山麓部におけるマユタテアカネの標識再捕獲調査のまとめ。
- 門脇久志 (2003) 島根県および鳥取県西部のブタクサハムシ (2). HGF研報, 6: 65-92. / 1996年に国内で初めて発見されたブタクサハムシは, 2001年に島根県, 鳥取県で発見された. 9号線など主要道路沿いや河川流域ぞいに調査した結果, 島根県では, 米子市から安来市経由で東から侵入したものと, 津和野~益田市など西から侵入したものと2系統があり, 中央部の大田市ではまだ発見されないという。(YK)
- 門脇久志 (2004) 島根県および鳥取県西部のブタクサハムシ (3). すかしば, 52: 49-64. / 島根県と鳥取県西部における帰化昆虫ブタクサハムシの分布状況の続報。
- 門脇久志 (2005) 島根県および鳥取県西部のブタクサハムシ (4). HGF研報, 8: 203-217.
- 門脇久志 (2006) 島根県および鳥取県西部のブタクサハムシ (5). 2001-2005年の調査結果のまとめ—。HGF研報, 9: 265-294.
- 門脇久志・三島秀夫 (2003) 蛾の記録ひとつ. すかしば, 51: 8.
- 門脇久志・三島秀夫 (2006) 隠岐島の蛾 (IV). すかしば, 54: 23-29. / 143種。
- 神垣健司 (2003) 島根県浜田市におけるメスアカムラサキの記録. げいなんの自然, 6: 33. / 浜田市三階山, 2003. VIII.13, 1♂, 佐野博士氏撮影。
- 環境省自然環境局・生物多様性センター (編) (2003) 「生物多様性調査動物1分布調査報告(昆虫(ガ)類)」, 181 pp. / 114種について分布情報を図示。
- 環境省自然環境局・生物多様性センター (編) (2003) 「生物多様性調査動物1分布調査報告(昆虫(甲虫)類)」, 462 pp. / 375種について分布情報を図示。
- 環境省自然環境局・生物多様性センター (編) (2003) 「生物多様性調査動物1分布調査報告(昆虫(チョウ)類)」, 376 pp. / 311種について分布情報を図示。
- 環境省自然環境局・生物多様性センター (編) (2003) 「生物多様性調査動物1分布調査報告(昆虫(セミ・水生半翅)類)」, 137 pp. / 74種について分布情報を図示。
- 環境省自然環境局・生物多様性センター (編) (2003) 「生物多様性調査動物1分布調査報告(昆虫(トンボ)類)」, 279 pp. / 206種について分布情報を図示。
- 加藤重和・椋木博昭 (2003) 安蔵寺山の甲虫. すかしば, 51:

- 1-7. / 安蔵寺山 (島根県日原町～六日市町, 1263m) の甲虫採集記録. ダイセンコブヤハズカミキリ, オオホソコバナカミキリ, ヒゲジロホソコバナカミキリなどが多産するという.
- 川又昌弘 (2004) 島根県大山と隠岐島後の昆虫相視察. 虫とりあみ, 25: 13.
- 川野敬介 (2005) 島根県東部の止水性水生昆虫の分布記録. HGF研報, 8: 77-97.
- 川野敬介・星川和夫 (2003) 卵塊の有無によるオオコオイムシ *Appasus major* (Esaki) 雄の移動性の違い. 中国昆虫, 16: 55-58.
- 川野敬介 (2005) 卵塊を背負ったオオコオイムシのメス. HGF研報, 8: 98.
- 川野敬介・中野浩史・林 成多・山内健生 (2006) 出雲市平田地域のため池生物調査 (2) 止水性水生昆虫類の生息状況. HGF研報, 9: 13-37. / 2001年9月～2003年10月, 108種. トンボ34種. カメムシ27種 (アサヒナコミズムシ, エゾミズギワカメムシは島根県初記録). コウチュウ38種.
- 木元新作・中村慎吾 (2004) 広島県産ハムシ科分布資料 (3). 比和科学博物館研究報告, 107-113. / 島根県産17種のデータがある.
- 岸井 尚 (2003) 北山昭氏蒐集のコメツキムシ. ねじればね, 107: 10-13.
- 小早川誠 (2004) 島根県内にて希少ゲンゴロウを採集. すかしば, 52: 8. / マルコガタノゲンゴロウを島根県東部で採集. 2003.X.20. 地名は伏せてある. 上田常一 (1961) について県内2例目と書いているが, 実質的な初記録というべき大発見. (KY)
- 小早川誠・永田正人 (2006) 島根県内にてコガタノゲンゴロウを採集. すかしば, 54: 30-31. / 県東部, 2005.IX.17, 1 ex. を採集する. なお隠岐, 三瓶山, 松江市堀川で3例の記録があるとしているが, いずれも根拠があいまいで無視すべきものであろう. 未発表ながら平田市～松江市の付近で数年前に1頭が採集されており, 今回の記録は実質的な2例目のものとなる. (KY)
- 京都大学蝶類研究会 (編) (2004) 2003年日本産蝶類採集情報. SPINDA, 19: 120-149. / 三瓶山小屋原のギフチョウの採集記録.
- 京都大学蝶類研究会 (編) (2005) 2004年日本産蝶類採集情報. SPINDA, 20: 106-142. / 島根町のシルビアシジミの採集記録
- 京都大学蝶類研究会 (編) (2006) 2005年日本産蝶類情報. SPINDA, 21: 135-178. / クロコノマチョウを大田市久利, 2005. IX.15, 1ex 確認.
- 前田泰生 (2006) 島根県産メバエ類の採集記録. すかしば, 54: 1-6. / 15種.
- 前田泰生・北村憲二 (2006) 島根県産ネジレバネ類. すかしば, 54: 7-8. / 14種.
- 前田泰生・北村憲二・松本圭司・宮永龍一 (2004) 海浜における送粉生態系の保全に関する研究2. 山陰地方の海浜性植物ハマゴウ (クマツヅラ科) における有剣類の送粉様式. HGF研報, 7: 275-303.
- 前田泰生・北村憲二・松本圭司 (2004) コモンツチバチの産卵行動の一観察例. 中国昆虫, 17: 31-33. / 出雲市, 湖陵町にまたがる大社砂丘でもコモンツチバチの産卵行動の観察.
- 前田泰生・宮永龍一・北村憲二 (2003) 三瓶山における野生ハナバチ相の生態学的研究. NEW ENTOMOLOGIST, 52: 19-47. / 三瓶山北の原から上多根までの道路沿いで, 1991.V.26-X.2 (9回), 1992.IV.2-V.20 (3回), 計12回の調査によって81種を記録した. 優占種はキオビツヤハナバチ.
- 皆木宏明・葦矢崇司・原 志男 (2005) イズモコバイモ (ユリ科) の訪花昆虫と結実. 島根県立三瓶自然館研究報告, 3: 57-60.
- 皆木宏明 (2005) イズモコバイモの訪花昆虫相. 島根県立三瓶自然館研究報告, 3: 87.
- 三島秀夫 (2006) 島根県の蛾類. pp. 247-260. In: 日本生物教育会島根大会実行委員会 (編) 新島根の生物. 日本生物教育会島根大会実行委員会 (出雲市), 274 pp.
- 三島秀夫 (2003) 三瓶自然館に収蔵されている鱗翅目: ヤガ科標本について. 島根県立三瓶自然館研究報告, 1: 21-28. / 島根県のヤガ科91種を追加. 県内で記録されるヤガ科は559種 (疑問種除く) となる.
- 三島秀夫 (2003) 三瓶山でクロカタビロオサムシを採集. すかしば, 51: 8. / 2001.V.16, 大田市三瓶山北の原.
- 三島秀夫 (2004) ヒロヘリアオイラガについて. すかしば, 52: 22.
- 三島昭一 (2004) ヒサマツミドリシジミを島根県旭町で採卵する. すかしば, 52: 25.
- 三島昭一 (2004) ギフチョウの新産地. すかしば, 52: 26.
- 三島寿雄 (2005) 秋の木次線沿線の蝶. すかしば, 53: 30.
- 中藪洋行 (2004) ハマベツチカメムシを島根県で採集. すかしば, 52: 16.
- 中藪洋行・星川和夫 (2003) ウスイロヒョウモンモドキ三瓶山個体群の動態: 2002年度モニタリング調査の報告. 中国昆虫, 16: 35-44.
- 中藪洋行 (2006) キンイロエグリタマムシとアカマダラセンチコガネをFITで採集. すかしば, 54: 31-32.
- 中峰 空 (2005) 中国地方におけるセダカコブヤハズカミキリの分子系統解析. HGF研報, 8: 71-76.
- 中村慎吾・松田 賢 (2005) 島根県高津川の昆虫類, 2000年の調査結果. HGF研報, 8: 99-172.

- 南部敏明 (2002) 隠岐の島で採集したショウジョウバエ. 埼玉動物研通信, 41: 21. / 2002.VI.25-30, ショウジョウバエ科13種.
- 南部敏明 (2002) 島根県隠岐(島後)で6月に採集した蜂. 埼玉動物研通信, 41: 32-37. / ハバチ, ヒメバチ, アリ, ギングチバチ, コハナバチなど56種の採集記録.
- 日本産アリ類データベースグループ (2003) 学研の大図鑑. 日本産アリ類全種図鑑. 学研 (東京). 196 pp. / アリの絵解き検索表つき図鑑. 同じ著者グループにより以前に同類の検索表が発行されているが, 今回のものには各種のカラー写真が付き, アリの同定がはるかに容易になった. 県別の記録の有無が日本地図で表示されており, 各種の鳥取県や島根県の記録の有無もわかる. 7000円. (NT)
- 二村正之 (2006) 出雲市塩冶町でムラサキツバメを目撃. すかしば, 54: 13. / 島根大学医学部構内, 2005.VIII.30, 1ex.
- 西川 勝・島田 孝 (2004) 隠岐諸島のハサミムシ目. すかしば, 52: 20-21. / 4種.
- 野村周平・福井修二 (2004) 島根県で採集されたアリヅカムシ第1報. すかしば, 52: 3-7. / 福井修二氏が採集して野村周平博士が同定. 34種.
- 野崎隆夫・中村慎吾 (2005) 島根県で採集されたトビケラ成虫の記録. 比和科学博物館研究報告, 45: 217-229. / 66種. ヒメクダトビケラ, アヤベカクツツトビケラ, ミヤコヒゲナガトビケラ, ビワアシエダトビケラなどの希少種が含まれる.
- 西 浩孝・曾田貞滋 (2005) ミトコンドリアDNA分析に基づく中国地方のマイマイ属の系統地理学的研究. HGF 研報, 8: 185-195.
- 西川 勝 (2006) 庄原市立比和自然科学博物館に保管されているハサミムシ類の標本. 比婆科学, 218: 45-47.
- 尾原和夫 (2003) 島根県における水生食肉甲虫類の記録. すかしば, 51: 9-15.
- 尾原和夫 (2003) すかしば50号の訂正. すかしば, 51: 15. / 清水寺のヒメハルゼミ (すかしば50: 50.) は初記録ではない. セスジナガカメムシ (すかしば36: 13.), シロヘリツチカメムシ (青木コレクション目録, 1996) の2種も島根県初記録ではない.
- 尾原和夫 (2003) 2003年大万木山域におけるエゾゼミ類の記録. すかしば, 51: 29. / 毛無山, 草ノ城山周辺でエゾゼミ類3種を確認.
- 尾原和夫 (2003) 島根県における水生食肉甲虫類の記録. すかしば, 51: 9-15. / 島根県内におけるコガシラミズムシ科5種, コツブゲンゴロウ科2種, ゲンゴロウ科34種, ミズスマシ科などの目録.
- 尾原和夫 (2004) マツムラゲンバイの再記録. すかしば, 52: 32.
- 尾原和夫 (2005) 2004年ツマグロキチョウの観察記録. すかしば, 53: 30.
- 尾原和夫 (2006) 隠岐諸島のアメンボ類. *Rostria*, 52: 61-63.
- 尾原和夫 (2006) 島根県の半翅類. pp. 189-202. In: 日本生物教育会島根大会実行委員会 (編) 新島根の生物. 日本生物教育会島根大会実行委員会 (出雲市), 274 pp.
- 尾原和夫・三島秀夫 (2004) 2003年・隠岐のガあれこれ. すかしば, 52: 17.
- 尾原和夫・島田 孝 (2005) 隠岐で未記録のミズギワカメムシ2種. すかしば, 53: 27.
- Okushima, Y. (2005) A taxonomic study on the genus *Lycocerus* (Coleoptera, Cantharidae) from Japan, with zoogeographical considerations. *Japanese Journal of Systematic Entomology, Monographic Series*, 2, 383 pp. / ジョウカイボン科 *Lycocerus* 属の分類学的改訂. 島根県産として次の種の標本が扱われている: ジョウカイボン (西日本亜種) *Lycocerus suturellus luteipennis*, スエボシジョウカイ *L. vitellinus*, イシハラジョウカイ *L. ishiharai*, ミヤマクビアカジョウカイ *L. nakanei*, ホウキセスジジョウカイ *L. hokiensis* Okushima 2005, ヒメジョウカイ *L. japonicus*, ホソニセヒメジョウカイ *L. okuyugawaranus*, ツユキクロホソジョウカイ *L. tsuyukii*. (NT)
- 小村制申 (2003) 山陰のギフチョウ採集案内. ゆずりは, 17: 27-28.
- 大浜祥治 (2006) 島根県のトンボ類. pp. 171-187. In: 日本生物教育会島根大会実行委員会 (編) 新島根の生物. 日本生物教育会島根大会実行委員会 (出雲市), 274 pp.
- 大浜祥治 (2003) 八雲村星上山でヒメハルゼミの鳴き声を確認. すかしば, 51: 33. / 2003.VII.18, 八束郡八雲村東岩坂.
- 大浜祥治 (2003) 田植え直後の水田で得られたゲンゴロウ数種. すかしば, 51: 33. / 松江市西忌部町一崎, 2003.V, クロゲンゴロウなど6種.
- 大浜祥治 (2003) 隠岐・島前の海士町でモノサシトンボが確認される. すかしば, 51: 15. / 2002.VI.16, 隠岐郡海士町福井, 浜中文麿氏確認撮影. 浜中氏は2003年1月6日に急逝された.
- 大浜祥治 (2004) 隠岐・島後の油井ノ池でコバネアオイトトンボの大発生. すかしば, 52: 13.
- 大浜祥治 (2004) 松江市東津田町でクマゼミの鳴き声を確認. すかしば, 52: 13.
- 大浜祥治 (2006) 江津市桜江町ほかでヒメハルゼミを確認. すかしば, 54: 6.
- 大浜祥治 (2006) 隠岐・島後の油井の池でコオイムシを確認. すかしば, 54: 36.
- 大浜祥治 (2006) 益田市匹見町でスケバハゴロモを確認. す

- かしば, 54: 40.
- 大浜祥治・祖田 周・淀江賢一郎・三島秀夫 (2003) 島根県のトンボ相V. HGF研報, 6: 215-290./1993~2002年の10年間における島根県のトンボ88種の目撃・採集記録. 全種の分布図とカラー生態写真が付されている. 希少種の解説, 生息地の保全のあり方などについてふれる。
- 大浜祥治・門脇久志・祖田 周・三島秀夫・淀江賢一郎 (2003) 隠岐諸島のトンボ相・島根県のトンボ相 [IV]-. 隠岐の文化財, 19: 1-53./「すかしば」50号で報告された「隠岐諸島のトンボ相 補遺」と同一報文であるが, 新たにカラー生態写真30点を追加。
- 大畑純二・皆木宏明・三島秀夫 (2003) 「三瓶山昆虫標本目録(IV)」. 100pp. 島根県立三瓶自然館.
- 大西 剛 (2005) 春だ! ギフチョウ+初夏だ! ゼフィルス 2005. 誤苦楽蝶, 41: 1399./ギフチョウ。
- 酒井 香 (2004) 隠岐諸島におけるカッコウムシの記録. 月刊むし, 406: 13./5種。いずれも島田孝氏採集品。
- 坂田国嗣 (2004) チョウの観察記録. すかしば, 52: 41-46.
- 坂田国嗣 (2005) 2004年チョウ観察記録. すかしば, 53: 1-13.
- 坂田国嗣 (2005) ウスバシロチョウ吸水確認. すかしば, 53: 13.
- 坂田国嗣 (2005) 鳥取県でクロミドリシジミ初記録される. すかしば, 53: 13./鳥取県三平山, 2003.VII.6およびVII.20に各1♂, 計2♂を藤原泰樹氏が初採集。これを受けて坂田氏は2004.VI.20に1♀を写真撮影, 再確認した。本種は中国地方各地で急速に分布を拡大しており, 鳥取県での確認が望まれていた。(KY)
- 坂田国嗣 (2005) モンシロチョウ, スジグロシロチョウ, クレオメに産卵確認. すかしば, 53: 13.
- 坂田国嗣 (2006) 島根県東部のウスバシロチョウ分布調査. すかしば, 54: 9-11.
- 坂田国嗣 (2006) 浜田市でクロセセリを確認する. すかしば, 54: 13./浜田市内, 2005.VII.30, 2 exs.
- 三瓶フィールドミュージアム財団(編) (2004) 島根県産昆虫標本目録(I). 島根県立三瓶自然館収蔵資料目録, 9: 1-26.
- Sasakawa, M. and Ishizaki, H. (2003) Fungus gnats of the genera *Anatella*, *Allodia* and *Cordyla* in Japan (Diptera: Mycetophilidae). Entomological Science, 6: 97-109./日本新として島根県斐川町仏教山からの *Cordyla pusilla* Edwards 1925の記録(1998年3月25日, 杉浦・皆木採集)を含む。(NT)
- 佐々木英之 (2006) 隠岐の島町でサツマシジミを採集. すかしば, 54: 19./隠岐郡隠岐の島町大久, 2005.IX.2, 1♂。
- 佐々木貴 (2003) 感動のあまりウスバギフになったお話. RINPOU, 130: 16-20./2003.IV.6, 木次町, 鱗粉不完全のウスバギフ採集のことなど。
- 指田春喜 (2005) ギフチョウ採集記録. 多摩虫, 47: 49-53./2004.IV.10, 大田市大江高山にてギフチョウ98♂♂1♀を採集。この山は大田市教育委員会によって保護地域とされており, 採集は禁じられている。(KY)
- Satoh, A., Uéda, T., Enokido, Y. and Hori, M. (2003) Patterns of species assemblages and geographical distributions associated with mandible size differences in coastal tiger beetles in Japan. Population Ecology, 45: 67-74./日本の海岸砂浜に生息するハンミョウ科9種の種集合のパターンの調査。2種または3種が共存する地点では, 種間で大顎のサイズがほとんど重ならない。鳥取県多鯨ヶ池と鳥取砂丘, および島根県出雲市海岸の3地点が17調査地のうちに含まれる。多鯨ヶ池で共存する3種(エリザハンミョウ+コニワハンミョウ+ハラビロハンミョウ)と鳥取砂丘で共存する3種(エリザハンミョウ+カワラハンミョウ+ハラビロハンミョウ)の間で大顎のサイズはほとんど重ならない。島根県出雲市では2種(エリザハンミョウ+ハラビロハンミョウ)が見つかるが, 大顎サイズの分布からはこの中間のサイズを埋める第3の種が入り込む余地がありそうである。ハラビロハンミョウの学名に *Lophyridia angulata* (Fabricius)が使用されている(従来の *Cicindela sumatrensis*はこれの新参シノニムだそう)。(NT)
- 島田 孝 (2004) 隠岐自然館甲虫標本目録. すかしば, 52: 33-40./隠岐自然館に展示されている甲虫標本目録, 9科61種(146点)。
- 島田 孝 (2004) 隠岐島後の珍奇な脈翅類5種の記録. すかしば, 52: 10./ヘビトンボ, クロスジヘビトンボ, ツノトンボ, ヒメカマキリモドキ, キカマキリモドキ。
- 島田 孝 (2004) 2003年隠岐・島後セミの記録. すかしば, 52: 18-19.
- 島田 孝 (2004) 隠岐島後からエサキアメンボを発見. すかしば, 52: 19./都万村油井の池, 2004.II.24, 1♂。国内の島嶼からの初記録ともなる。
- 島田 孝 (2004) 隠岐のクチキコオロギとアオマツムシ. すかしば, 52: 31-32.
- 島田 孝 (2005) 隠岐島後からキンキコルリクワガタを発見. 月刊むし, 414: 18-25./隠岐島後大満寺山からのキンキコルリクワガタの発見の経緯の紹介。
- Shimada, T. (2005) New records of *Platyserus acuticollis akitai* (Coleoptera, Lucanidae) from the Island of Dôgo of the Oki Islands, West Japan. Kogane, Tokyo, 6: 45-46./ *Platyserus acuticollis akitai* Fujita 1987キンキコルリクワガタを隠岐島後大満寺山から初記録。比較標本として鳥取県大山の同亜種の標本が使われている(大山1♂1♀, 11-XI-1998)。(NT)
- 島田 孝 (2005) 採集地案内シリーズ 国内編 [11] 島根

- 県隠岐諸島. Saikaku-Tsûshin, 11: 71-74. 隠岐諸島の自然と甲虫の紹介。
- 島田 孝 (2006) 隠岐島後の重栖川河口の地表性昆虫 (1) ハマベゴミムシ. HGF研報, 9: 126.
- 島田 孝 (2006) 隠岐島後の重栖川河口の地表性昆虫 (2) オオツノハネカクシ. HGF研報, 9: 144.
- 島田 孝 (2006) 隠岐島後初記録のヨツバコガネ. 山陰自然史研究, 2: 36.
- 島田 孝・秋田勝己 (2004) 隠岐・島後のオオキノコムシ科. すかしば, 52: 10. / 2003年4-10月, 7属13種。
- 島田 孝・石川 忠 (2004) 隠岐島後からアダチアカサシガメを発見. すかしば, 52: 16-17.
- 島田 孝・山内健生 (2003) 隠岐諸島初記録のコカブトムシ. 山陰自然史研究, 1: 20.
- 島田 孝・尾原和夫・大浜祥治 (2005) 隠岐の水生食肉甲虫類. すかしば, 53: 41-48. / 2003年-2004年の現地調査で24種, 文献記録を整理すると29種。
- Shimizu, A. and Wahis, R. (2004) Systematic study of the genus *Cyphononyx* (Hymenoptera: Pompilidae) occurring in Japan. Entomological Science, 7: 171-181. / ベッコウバチ *Cyphononyx fulvognathus* (Rohwer) (これまで日本産は *C. dorsalis* とされていた) の検討標本に島根県浜田産が含まれる (22-VII-1979). (NT)
- 清水健一 (2004) 比和科学自然科学博物館に収蔵されている広島県産蛾類. 比婆科学, 213: 1-12. / 比和科学自然科学博物館収蔵の未同定のガ類標本の同定結果の一覧。一部に鳥取県産と島根県産も含まれる。島根県産はヒメコブヒゲアツバ (益田市虫追町)。 (NT)
- 島根県立大東高等学校自然科学部 (2003) 島根県湖陵町差海岸の砂浜におけるニセマグソコガネの分布について. 平成16年度島根県高文連自然科学専門部研究集録: 27-31. / 指導者は鈴木謙治氏。
- 新海義治 (2004) ヒサマツミドリシジミの採集記録. わたしたちの自然, 88: 22. / 旭町天狗石山, 2003.VI.29, 1♀。同時にサツマシジミも採集。
- 白水 隆・松香宏隆 (2003) 蝶類交尾飛翔の記録. HGF研報, 6: 99-137. / 日本産蝶類253種 (外国産も含めると334種) の交尾飛翔形式の文献記録. 白水隆先生が50年以上をかけたメモされたノートをもとに松香宏隆氏がとりまとめた。島根県内のメスグロヒョウモンなど。
- 祖田 周・大浜祥治 (2003) 2002年タイリクアキアカネ・オナガアカネの記録. すかしば, 51: 31-33. / 2002年のタイリクアキアカネ, オナガアカネの詳細な採集記録. 1991年以来の大飛来の年. オナガアカネが隠岐で採集されないなど例年とは異なるパターン。
- 祖田 周・大浜祥治 (2004) 2003年タイリクアキアカネ・オナガアカネの記録. すかしば, 52: 15.
- 祖田 周・大浜祥治 (2006) 2004年・2005年, 島根県の飛来アカトンボの記録. すかしば, 54: 22.
- 曾田貞滋 (2003) ミトコンドリアDNA分析に基づく西日本のオオオサムシ亜属の系統地理学的研究. HGF研報, 6: 153-166. / 西日本のオオオサムシ亜属5種 (ダイセンオサムシ, ヒメオサムシ, オオオサムシ, シコクオサムシ, ヤコンオサムシ) のミトコンドリアND5遺伝子の塩基配列は著しい種内多型を示すと同時に, 種間での系統の共有, すなわち種間多型も多く見られるという。西日本産5種がもつミトコンドリアの系統はオオオサムシ亜属全体の系統のほぼ全体をカバーしているという。 (KY)
- 鈴木謙治 (2006) ニセマグソコガネの採集記録. すかしば, 54: 32.
- 鈴木謙治 (2006) 島根県の甲虫類. pp. 203-218. In: 日本生物教育会島根大会実行委員会 (編) 新島根の生物. 日本生物教育会島根大会実行委員会 (出雲市), 274 pp.
- 田中正文 (2004) 六日市町幸地でのツマグロキチョウ. すかしば, 52: 23-25.
- 田中真悟 (2006) ベイトトラップによるトビムシ類の採集記録 (広島県, 鳥取県, 島根県, 山口県). 比婆科学, 220: 11-17. / 鳥取県日南町の13種, 島根県27種の記録を含む。
- 田中俊朗 (2005) 2005年採集メモ帳. 蝶道, 337: 1744. / 2005.IV.9, 大原郡木次町, 15♂6♀。2005.IV.9, 飯石郡三刀屋町, 6♂1♀。
- 塚本圭一 (2003) 日本フン虫誌 (4): 絶滅に瀕するフン虫. 鯉角通信, 6: 33-41.
- 上田昇平・潘 宇・小藪紅仁・占部由佳・淀江賢一郎・宇佐美真一 (2005) 隠岐と島根県本土に生息するチョウ類の地理変異に関する系統学的解析. HGF研報, 8: 25-30.
- 碓井 徹 (2003) 島根県隠岐諸島における水生半翅類の分布記録 (1). Rostria, 51: 25-26. / オキナワイトアメンボ (布施村南谷), オオアメンボ (都万村壇鏡の滝), タニガワミズギワカメムシ (布施村南谷) の3種。
- Watanabe, Y. and Shimada, T. (2005) New record of *Micropeplus hiromasai* (Coleoptera, Staphylinidae) from the Island of Dôgo of the Oki Islands, Japan. Elytra, 33: 602. 九州祖母山と北海道から知られるのみであったハネカクシの1種 *Micropeplus hiromasai* Watanabe & Shibata 1964の隠岐島後壇鏡滝からの新記録。 (NT)
- Watanabe, Y. and Shimada, T. (2004) A new apterous *Lathrobium* (Coleoptera, Staphylinidae) from the Island of Dôgo of the Oki Islands off Western Honshu, Japan. Elytra, 32: 293-298. / 隠岐島後の土壌リターから採集された標本に基づき *Lathrobium monticola* オキクロチビコバ

- ネナガハネカクシを新種記載した。タイプ産地は標高550m地点であるが、標高25mの低所からも採集されている。(NT)
- Watanabe, Y. and Shimada, T. (2005) More apterous *Lathrobium* (Coleoptera, Staphylinidae) from Nishi-no-shima of the Dôzen group of the Oki Islands off western Honshu, Japan, *Elytra*, Tokyo, 33: 603-608. / 隠岐西ノ島より *Lathrobium dozenense* Y. Watanabe & Shimada 2005 ドウゼンコバネナガハネカクシを新種として記載。また、島後から新種として記載されていた *L. okiense* Watanabe & Shimada 2004 オキクロチビコバネナガハネカクシを西ノ島から新記録。(NT)
- 山田 学 (2003) 島根県西部地域におけるハンミョウ類・ヒョウタンゴミムシ類の採集および観察記録。すかしば, 51: 34-36. / ハンミョウ8種, ヒョウタンゴミムシ3種の採集記録。ハンミョウの生態写真4点を含む。
- 山田 学 (2003) 島根県西部地域における大型水生昆虫の採集記録。すかしば, 51: 39-48. / 匹見町, 美都町, 金城町, 六日市町, 浜田市, 益田市, 日原町, 三隅町, 旭町, 桜江町, 柿木村, 弥栄村, 江津市における大型水生昆虫(コオイムシ, タガメ, ゲンゴロウ, ガムシ等) 22種の採集記録。生態写真7点を含む。
- 山田 学 (2003) 匹見町におけるオオチャイロハナムグリの採集記録。すかしば, 51: 16. / 匹見町内5カ所におけるオオチャイロハナムグリの採集記録。オスの強い芳香を感じるという。
- 山田 学 (2003) 匹見・高津川にてカワラバッタの生息を確認。すかしば, 51: 30. / 全国的に減少著しいカワラバッタを益田市(匹見川・高津川)で採集。草地よりも丸石だらけの見通しの良い開けた場所を好むという。
- 山田 学 (2003) 匹見町におけるツノトンボ・カマキリモドキ・ヘビトンボの採集記録。すかしば, 51: 37-38. / 島根県匹見町内における脈翅目6種の採集記録。
- 山田 学 (2004) 西中国山地でのオオキノコムシの採集・観察記録。すかしば, 52: 11.
- 山田 学 (2004) 美濃郡匹見町でのアカマダラセンチコガネ・ムネアカセンチコガネの採集記録。すかしば, 52: 12.
- 山田 学 (2004) 美濃郡匹見町でのヒラタムシ類の採集記録。すかしば, 52: 12-13.
- 山田 学 (2004) 美濃郡匹見町でのクロモンシタバの採集記録。すかしば, 52: 12-13.
- 山田 学 (2004) 益田市のクチキコオロギ・ウミコオロギ類の採集記録。すかしば, 52: 30-31.
- 山口 茂 (2006) 隠岐にマダラクワガタ産す。月刊むし, 426: 68. / 隠岐大満寺山, 2006.IV.19, 2幼虫。VI.12羽化。隠岐初記録。
- 山本正志 (2005) 島根県中部地域(江の川流域)における岩場の蝶(ホシミスジ, ウラナミジャノメ, ヘリグロチャバネセセリ)の採集及び観察記録。すかしば, 53: 23-25. / 新記録が多く含まれており重要な報文。(KY)
- 山本正志 (2005) 島根県中部地域(江の川流域)におけるハンミョウ類の採集及び観察記録。すかしば, 53: 31-34. / 9種。
- 山本正志 (2005) 江の川流域でシルビアシジミを採集。すかしば, 53: 22.
- 山本正志 (2005) 江の川流域のイシガケチョウ。すかしば, 53: 22.
- 山本正志 (2005) 江津市の海岸でギンイチモンジセセリを採集。すかしば, 53: 25.
- 山本正志 (2005) 島根県石見町冠山のギフチョウ。すかしば, 53: 25-26.
- 山本正志 (2005) ツマグロキチョウの調査報告(2)。すかしば, 53: 28-29. / 三瓶山, 江の川, 頓原, 大和村, 瑞穂町, 石見町, 桜江町など各所で少なからぬ個体を発見, 採集。調査地点では衰亡種というよりも分布を拡大している様相を感じるという。(KY)
- 山本正志 (2005) ヒサマツミドリシジミを島根県瑞穂町で採集。すかしば, 53: 29. / 瑞穂町赤馬, 2004.VI.20, 1♀。
- 山本正志 (2006) 島根県中部地域(江の川流域)におけるゼフィルスの採集報告。すかしば, 54: 41-43. / ヒサマツミドリシジミ(瑞穂町高見三滝, 2005.II.4, 3 eggs.), ウラクロシジミ(羽須美村戸河内大所, 2005.V.14, 2 larvae)などを含む12種の記録。
- 山本正志 (2006) 島根県金城町波佐でサツマシジミを採集。すかしば, 54: 44.
- 山本正志 (2006) 島根県金城町弥畝牧場にてヒメシジミ, コキマダラセセリを採集。すかしば, 54: 44-45.
- 山本正志 (2006) 島根県中部地域(江の川流域)におけるオオムラサキの採集・観察記録。すかしば, 54: 45-46.
- 山本正志 (2006) 江の川河岸のギフチョウ(大和村長藤高梨のギフチョウの一習性)。すかしば, 54: 46.
- 山本正志 (2006) 島根県川本町におけるオオヒカゲの生息環境について。すかしば, 54: 47.
- 山本正志 (2006) 島根県中部地域(江の川流域)におけるクモガタヒョウモンの採集・観察記録。すかしば, 54: 48-49.
- 山本正志 (2006) 島根県中部地域(江の川流域)におけるツマグロキチョウの越冬地を確認。すかしば, 54: 49.
- 山本正志 (2006) 島根県中部地域(江の川流域)におけるハッチョウトンボの採集・観察記録。すかしば, 54: 50.
- 山本正志 (2006) 島根県瑞穂町久喜にてゲンバイトンボを採集。すかしば, 54: 50-51.
- 山本正志 (2006) 島根県出雲地域のオオヒョウタンゴミム

- シの採集データ。すかしば, 54: 51.
- 山本正志 (2006) 島根県中部地域 (江の川流域)におけるキンコリクワガタの採集・観察記録。すかしば, 54: 52-53.
- 山本正志 (2006) 島根県邑智郡内で採集した注目すべき昆虫2種 (ベーツヒラタカミキリ, クロウスタビガ)。すかしば, 54: 53.
- 山本正志 (2006) 三瓶山山麓で採集したカミキリ2種 (スネケブカヒロコバネカミキリ, ルリボシカミキリ)。すかしば, 54: 54-55.
- 山本正志 (2006) 島根県東部地域 (斐伊川流域) でイッシキキモンカミキリを採集。すかしば, 54: 55-56.
- 山本正志 (2006) 島根県中部地域 (江の川流域) におけるオニグルミ林に生息する昆虫2種 (オニグルミノキモンカミキリ, オナガシジミ)。すかしば, 54: 56-57.
- 山本正志 (2006) 島根県中部地域 (江の川流域) におけるカワラバタの採集・観察記録。すかしば, 54: 58.
- 山本正志 (2006) キオビホオナガスズメバチを島根県川本町で確認。すかしば, 54: 59-60.
- 山本正志 (2006) 山陰地方のセミ類の採集・鳴き声等の観察記録 (エゾ・アカエゾゼミ・チッチゼミ)。すかしば, 54: 60-61.
- 山本正志・田中 真 (2005) 江の川流域及び三瓶山周辺のクロコノマチョウ。すかしば, 53: 27.
- 山本正志・田中 真 (2005) 島根県中部地域 (江の川流域) 及び三瓶山地域におけるイッシキキモンカミキリの採集及び観察記録。すかしば, 53: 35-36.
- Yamauchi, T. (2005) Human dermatitis caused by the house-martin flea, *Ceratophyllus farreni chaoi* (Siphonaptera; Ceratophyllidae) in Shimane Prefecture, Japan. *Journal of Medical Entomology and Zoology*, 56: 49-52.
- 山内健生 (2003) 島根県におけるシラミバエ科2種の記録。中国昆虫, 16: 51-53.
- 山内健生 (2006) 隠岐島前の中ノ島および西ノ島におけるオオゴキブリの記録。山陰自然史研究, 2: 12.
- 山内健生・足立容子 (2003) 隠岐島後におけるオオゴキブリの記録。ばったりぎす, 132: 22。/2002.VIII.29, 隠岐西郷町池田国分寺にて目撃。
- 山内健生・土江好子 (2003) アカモクメヨトウの幼生期および食草に関する知見(鱗翅目: ヤガ科)。中国昆虫, 16: 33-34。/斐伊川にてオギ, ススキから幼虫を採集, 飼育羽化。
- 八幡浩二 (2004) 隠岐のヤツメカミキリの記録。すかしば, 52: 21。/色彩に顕著な変異が見られるという。
- 八幡浩二 (2004) 隠岐・島後でまたタガメが採集される。すかしば, 52: 29。/西郷町, 2001.VII.1, 1 ex.
- 淀江賢一郎 (2003) 日本産蝶類別レッドデータ・リスト (2002年)・島根県。「日本産チョウ類の衰亡と保護第5集」: 104-107.日本鱗翅学会。/島根県から54種をレッドデータ種としてリストアップした。
- 淀江賢一郎 (2005) 島根県で採集されたクジャクチョウのことなど。Butterflies (フジ), 39: 53-55。/隠岐(五箇村久見, 1995年8月下旬, 八幡浩二氏採集), および島根半島(美保関町諸喰, 1996年4月21日, 鶴原正行氏採集)の2例。標本写真付き。信州や北海道などからの国内飛来ではなく, 大陸方面からの移動に由来するものであることは間違いないと思われる。なお, 記事中に, 以前, 津和野町で採集されているヤマキチョウ, および裏面が赤褐色となるツマグロキチョウのことについてもふれ同様の由来だろうと推測している。(KY)
- 淀江賢一郎・坂田国嗣・藤原泰樹・山本正志 (2006) 島根県の蝶類。—島根県には何種類の蝶類がいるのか?—, pp. 219-245. In: 日本生物教育会島根大会実行委員会(編) 新島根の生物.日本生物教育会島根大会実行委員会(出雲市), 274 pp。/各種に付されているデータはすべて未発表記録。スジグロカバマダラ(出雲市斐伊川河川敷, 1991.VIII.16, 浜田義治氏採集), ヒサマツミドリシジミ(旭町市木, 2005.VIII.4, 1♀, 三島秀夫・尾原和夫氏採集), メスアカムラサキ(隠岐・知夫里島, 2003.IX.4, 井上定彦氏撮影)などの注目すべき記録がある。
- 吉岡政幸 (2003) 2003年ギフチョウ採集記録。よいこの蟲だより, 198: 9544.

【クモガタ類】

- Gotoh, T., Kitashima, Y. and Adachi, I. (2004) Geographic variation of esterase and malate dehydrogenase allozymes in two spider mite species. *Panonychus osmanthi* and *P. citri* (Acari: Tetranychidae) in Japan. *Internat. J. Acar*, 30: 45-54。/ *Panonychus osmanthi* と *P. citri* のエステラーゼとマレイト脱水素酵素アロザイムの地理的変異。調査された40集団のうちの一つが島根県益田市。(NT)
- 景山純孝 (2006) クモの染色体観察法。pp. 131-132. In: 日本生物教育会島根大会実行委員会(編) 新島根の生物.日本生物教育会島根大会実行委員会(出雲市), 274 pp.
- 小川光昭 (2003) 江の川流域の真正クモ類(第2報)。比和科学博物館研究報告, 42: 181-197。/1999年5月12日~10月19日にかけて採集された江の川流域のクモ22科153種の採集記録(河川水辺の国勢調査)。うち島根県内から13科58種が記録されている。標本は比和町立比和科学博物館に保管。
- 小川光昭 (2003) 江の川流域の真生クモ類(第3報)。比和科学, 215: 13-28。/江の川からのクモ129種の記録。島根県側からは12科105種。

- 初芝伸吾 (2006) イソコモリグモの捕食例. *Kishidaia*, 90: 28.
- 澤村信生・梶谷則之・奈良井祐隆 (2004) 施設栽培ナシにおけるミヤコカブリダニ *Neoseiulus californicus* (McGregor) 放飼によるカンザワハダニ *Tetranychus kanzawai* Kishida の防除. 日本応用動物昆虫学会中国支部会報, 46: 21-28. / 島根県出雲市の島根県農業試験場のハウスにおけるカンザワハダニの発生推移とミヤコカブリダニ放飼による防除効果の調査. (NT)
- 新海 明・谷川明男 (2003) 島根県で観察したクモ類. *Kishidaia*, 84: 69-71. / 2002年9月21日から23日にかけて, 島根県数カ所で採集された64種のクモの記録. 環境省版RDB希少種のキノボリトタテグモの巣が邇摩郡温泉津町吉浦牧場入口 (9/22) にて確認されている. (NT)
- 新海 明・谷川明男 (2006) 東京蜘蛛談話会2006年度合宿報告. 島根県大田市温泉津 (ゆのつ)温泉周辺のクモ. *Kishidaia*, 90: 52-61.
- Suzuki, S., Tsurusaki, N. and Kodama, Y. (2006) Distribution of an endangered burrowing spider *Lycosa ishikariana* in the San'in Coast of Honshu, Japan (Araneae: Lycosidae). *Acta Arachnologica*, 55: 79-86. / 島根・鳥取両県における日本固有種イソコモリグモ (環境省RDB絶滅危惧II類) の生息状況と生息条件の調査. 島根県から初めて次の海岸砂丘において本種の生息を確認大社町くにびき海水浴場, 江津市浅利海岸, 江津市川波小学校前海岸, 浜田市石見海岸, 益田市戸田海岸. 戸田海岸が現在, 本種の分布西限 (山口県にはおそらく生息しない).
- 鶴崎展巨 (2006) 島根県のザトウムシ類: 種のリストと地理変異. pp. 55-72. In: 日本生物教育会島根大会実行委員会 (編) 新島根の生物. 日本生物教育会島根大会実行委員会 (出雲市), 274 pp.
- Tsurusaki, N. (2006) Geographic variation of chromosomes and somatic morphology in the polymorphic species *Leiobunum hiraiwai* (Arachnida: Opiliones: Sclerosomatidae). *Zootaxa*, 1325: 157-190. / ヒライワスベザトウムシの地理的分化. 島根県産の標本も含まれる。
- Tsurusaki, N., Takanashi, M., Nagase, N. and Shimada, T. (2005) Fauna and biogeography of harvestmen (Arachnida: Opiliones) of the Oki Islands, Japan. *Acta Arachnologica*, 54: 51-63. / 島根県隠岐諸島のザトウムシ相を初めて調査し, 主要4島より合計14種を記録した (各島の種数: 島後12, 中ノ島4, 西ノ島4, 知夫里島6)。
- 山内健生 (2005) 島根県のマダニ相に関する文献学的検索. *HGF研報*, 8: 259-288.
- 吉田 哉 (2003) 日本産ヒメグモ科総説. 日本蜘蛛学会, 223 pp. / 日本産のヒメグモ科のモノグラフ. 島根県からの標本記録もかなり含まれる. 頒価4000円. 入手については著者の吉田哉氏へ問い合わせのこと: 〒990-2484 山形市竈田2-7-16. E-mail: araneae@mb.infoweb.ne.jp. ISBN: 4-9901449-808 C3645. (NT)
- 【水生無脊椎動物・ベントス】
- 福原晴夫・岡田 晃・木村直哉 (2000) 宍道湖におけるコップムシ科3種の分布と塩分濃度. *陸水学雑誌*, 61: 155-160.
- 小林亜鈴・上野俊士郎・河原正人・久保田 信 (2004) 日本海南部沿岸におけるカイヤドリヒドラ類 (ヒドロ虫綱, 軟クラゲ目) の分布初記録. 日本生物地理学会会報, 59: 41-44. / 日本海南部本州沿岸を中心としてムラサキイガイと共生するカイヤドリヒドラ類のポリプの分布調査をおこない, 隠岐西ノ島浦郷と島根県鹿島町恵曇から山口県下関市にかけての10地点でカイヤドリヒドラクラゲ *Eugymnanthea japonica*, 島根県沿岸の4地点でコノハクラゲ *Eutima japonica* の分布を初確認. 島根県恵曇と浜田市瀬戸ヶ島では両者が同所的に見つかった. (NT)
- 古林敏彦・山口勝秀・黒崎光恵・越川敏樹 (2005) 第10回特別展「宍道湖・中海の貝類-あんな貝, こんな貝, 知ってる貝」展示解説書. 「宍道湖・中海の貝類」, 62 pp. 島根県立宍道湖自然館.
- Kogure, Y. and Nagasawa, T. (2004) Relationship between the distribution of *Ophiura sarsii* (Echinodermata, Ophiuroidea) and Benthic environmental variables in the Sea of Japan. *Biogeography*, 6: 17-26. / 対馬から北陸にかけての日本海の91地点のサンプリングに基づく *Ophiura nsarsii* の分布とその要因の解析. 鳥取県・島根県沖のサンプルも多数含まれる. (NT)
- 幸塚久典 (2005) 隠岐沿岸で得られたアオスジガンガゼ (棘皮動物: ウニ綱). *HGF研報*, 8: 38.
- 幸塚久典 (2006) 隠岐の島後沿岸で得られたヒョウモンダコ (軟体動物: 頭足類). *HGF研報*, 9: 226.
- 幸塚久典 (2006) 隠岐の島町蛸木海岸に漂着したアカイカ. *山陰自然史研究*, 2: 29-31.
- 幸塚久典・宮崎 勤・齊賀守勝・新井省吾・秋吉英雄 (2005) 隠岐・蛸木漁港内におけるウミシダ類の生息状況 (予報). *HGF研報*, 8: 31-37.
- 幸塚久典 (2006) 日本海から初めて得られたアカオニナマコ *Stichopus ohshimae* (棘皮動物: ナマコ綱). *HGF研報*, 9: 203-206.
- 増田 修 (2003) 外来シジミ-タイワンシジミの侵略- 山のうへの魚たち (姫路市立水族館), 43: 4-5. / 宍道湖周辺河川にも最近すみついたというタイワンシジミの解説。

森脇晋平 (2004) 宍道湖水系におけるヤマトシジミ個体群分布の長期的変動. LAGUNA, 11: 31-41.

本尾 洋 (2003) 日本海産カニ類—I. 既知種. のと海洋ふれあいセンター研究報告, 9: 55-68. / 山口県から北海道までの日本海側13県のカニ類の全既知記録の整理. 鳥取県からは110種, 島根県からは88種が記録されているよう。(NT)

戸田顕史・馬堀望美・福田 宏・品川 明 (2003) 宍道湖におけるミズゴマツボの出現と分布. HGF研報, 6: 59-63. / 従来, 近似種エドガワミズゴマツボと識別ができていなかった. ミズゴマツボは汽水域に生息する希少種。(KY)

須谷昌之 (2003) 中国・四国・北陸の海産貝類雌の雄化と生徒実習への活用-内分泌攪乱物質汚染の影響-. 遺伝, 576: 92-98. / 中国・四国・北陸の約40地点で採集したレイシとイボニシの雌の雄化率などを調査. 有機スズによる影響がまだまだ広範囲に見られるという。(NT)

須谷昌之 (2006) 島根県の海岸の有機スズ汚染モニタリング—有機スズの環境ホルモンとしての作用—. pp. 269-273. In: 日本生物教育会島根大会実行委員会 (編) 新島根の生物. 日本生物教育会島根大会実行委員会 (出雲市), 274 pp.

山内健生 (2003) 宍道湖で採集されたナギサスナホリムシ属の一種 (等脚目:スナホリムシ科). HGF研報, 6: 172. / 宍道湖から*Eurydice* sp.を初記録。

山内健生 (2004) 宍道湖・中海産甲殻類の多様性に関する研究. TaKaRa ハーモニストファンド平成14年度研究報告: 39-63. / 宍道湖・中海から14目137種を記録した。

【陸生無脊椎動物】

山内健生・布村 昇 (2003) 島根県産陸棲等脚目分布資料 (1)既報の整理. HGF研報, 6: 167-171. / 既存文献より島根県産等脚目として9科15種 (そのうち隠岐に産するのは7科8種) を整理. ニシカワホラワラジムシ, ニシカワハヤシワラジムシ, シロコシビロダンゴムシの3種は模式産地が島根県である。(KY)

Sakata, K., Takada, Y., Kaeyama, M., Tenora, F., and Asakawa, M. (2005) Parasitic helminths obtained from the genus *Apodemus* (Muridae, Rodentia) collected on the Oki Island, Shimane Pref Japan, with a new host record of *Heligmosomoides kurilensis* from *Rattus rattus*. Biogeography, 7: 97-102.

■ タイプ産地

1. 隠岐島後標高 550 m 地点: *Lathrobium monticola* Watanabe and Shimada, 2004. オキクロチビコバネナガハ

ネカクシ(甲虫目ハネカクシ科)

2. 隠岐西ノ島: *Lathrobium dozenense* Watanabe and Shimada, 2005. ドウゼンコバネナガハネカクシ (甲虫目ハネカクシ科)